

平成 23 年度 医学部 4 年生試験問題

問題

以下の中で心停止の波形でないものはどれか

- a 心室細動
- b 無脈性心室頻拍
- c III度房室ブロック
- d 発作性上室性頻拍
- e 無脈性電気活動

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e"

"以下の中で心停止の波形でないものはどれか。

- a 心室細動
- b 無脈性心室頻拍
- c 無脈性電気活動
- d 発作性上室性頻拍
- e III度房室ブロック

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e"

"院外心肺停止に関する文章で間違っているのはどれか。

- 1 救急隊が扱った心肺停止は日本では1年間に10万件に及ぶ。
- 2 心臓突然死は急激な心筋虚血によって招かれた心停止で症状が生じて1時間以内の死亡をいう。
- 3 ウツタイン様式は院外停止の記録集計を標準化したフォーマットである。
- 4 ウツタイン様式は1990年に提唱された。
- 5 心原性心停止は非心原生心停止に比較して原因の特定が簡単である。"

"院外心肺停止に関する文章で間違っているのはどれか。

- a 救急隊が扱った心肺停止は日本では1年間に10万件に及ぶ。
- b 心臓突然死は急激な心筋虚血によって招かれた心停止で症状が生じて1時間以内の死亡をいう。
- c ウツタイン様式は1990年に提唱された。
- d ウツタイン様式は院内停止の記録集計を標準化したフォーマットである。
- e 心原性心停止は非心原生心停止に比較して原因の特定が簡単である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e"

"院外心肺停止に関する文章で間違っているのはどれか。

- a 救急隊が扱った心肺停止は日本では1年間に20万件に及ぶ。

- b 心臓突然死は急激な心筋虚血によって招かれた心停止で症状が生じて1時間以内の死亡をいう。
- c ウツタイン様式は1990年に提唱された。
- d ウツタイン様式は院内停止の記録集計を標準化したフォーマットである。
- e 心原性心停止は非心原性心停止に比較して原因の特定が簡単である。

1. a, b, c    2. a, b, e    3. a, d, e    4. b, c, d    5. c, d, e"

"心肺蘇生に関する文章で間違っているのはどれか。

- 1 救命の連鎖に二次救命処置は含まれない。
- 2 救命の連鎖に迅速な除細動は含まれる。
- 3 一次救命処置のアルゴリズムでは胸骨圧迫と人工呼吸の比率は30:2である。
- 4 一次救命処置のアルゴリズムでは脈があり、呼吸がない時は人工呼吸を10回/分で実施する。
- 5 胸骨圧迫は100回/分で実施して、圧迫解除は胸郭がしっかり戻るまで待つ。"

"心肺蘇生に関する文章で間違っているのはどれか。

- 1 救命の連鎖に二次救命処置は含まれる。
- 2 救命の連鎖に迅速な除細動は含まれる。
- 3 一次救命処置のアルゴリズムでは胸骨圧迫と人工呼吸の比率は15:2である。
- 4 一次救命処置のアルゴリズムでは脈があり、呼吸がない時は人工呼吸を約10回/分で実施する。
- 5 胸骨圧迫は100回/分で実施して、圧迫解除は胸郭がしっかり戻るまで待つ。"

"心肺蘇生に関する文章で間違っているのはどれか。

- a 救命の連鎖に二次救命処置は含まれない。
- b 救命の連鎖に迅速な除細動は含まれる。
- c 一次救命処置のアルゴリズムでは胸骨圧迫と人工呼吸の比率は30:2である。
- d 一次救命処置のアルゴリズムでは脈があり、呼吸がない時は人工呼吸を10回/分で実施する。
- e 胸骨圧迫は100回/分で強く早く押すことが大切で、圧迫解除を胸郭がしっかり戻るまで待つ必要はない。

1. a, b    2. a, e    3. b, c    4. c, d    5. d, e

"

"心肺蘇生に関する文章で正しいのはどれか。

- a 救命の連鎖に二次救命処置は含まない。
- b 一次救命処置のアルゴリズムでは胸骨圧迫と人工呼吸の比率は30:2である。
- c 一次救命処置のアルゴリズムでは脈があり、呼吸がない時は人工呼吸を10回/分で実

施する。

- d 一次救命処置では患者が動き出しても胸骨圧迫と人工呼吸はしばらく続ける。
- e 胸骨圧迫は100回/分で強く早く押すことが大切で、圧迫解除を胸郭がしっかり戻るまで待つ必要はない。

1. a, b    2. a, e    3. b, c    4. c, d    5. d, e

"

"心肺蘇生に関する文章で間違っているのはどれか。

- a 胸骨圧迫は100回/分で強く早く押すことが大切で、圧迫解除を胸郭がしっかり戻るまで待つ。
- b 一次救命処置のアルゴリズムでは胸骨圧迫と人工呼吸の比率は30:2である。
- c 一次救命処置のアルゴリズムでは脈があり、呼吸がない時は人工呼吸を15回/分で実施する。
- d 一次救命処置では患者が動き出しても胸骨圧迫と人工呼吸はしばらく続ける。
- e 一次救命処置に異物除去は含まない。

1. a, b, c    2. a, b, e    3. a, d, e    4. b, c, d    5. c, d, e

"

"心肺蘇生に関する文章で間違っているのはどれか。

- a 救命の連鎖に二次救命処置は含まれる。
- b 一次救命処置のアルゴリズムでは胸骨圧迫と人工呼吸の比率は15:2である。
- c 一次救命処置のアルゴリズムでは脈があり、呼吸がない時は人工呼吸を15回/分で実施する。
- d 一次救命処置では患者が動き出しても胸骨圧迫と人工呼吸はしばらく続ける。
- e 胸骨圧迫は100回/分で強く早く押すことが大切で、圧迫解除を胸郭がしっかり戻るまで待つ。

1. a, b, c    2. a, b, e    3. a, d, e    4. b, c, d    5. c, d, e

"

"二次救命救急処置 (ALS)に含まれないものはどれか。

- 1 低体温療法
- 2 原因検索
- 3 気管挿管などの高度な気道確保
- 4 静脈確保と薬剤投与

5 AEDによる除細動"

"二次救命救急処置 (ALS)に含まれないものはどれか

- 1 モニター監視下のマニュアル除細動器による除細動
- 2 原因検索
- 3 気管挿管などの高度な気道確保
- 4 前胸部叩打
- 5 静脈確保と薬剤投与"

"言葉の定義で間違っているのはどれか。

- 1 AED を公共の場所や多くの人利用する場所にくまなく設置していつでも除細動が使用できるようにすることを PAD (public access defibrillation) という。
- 2 プレホスピタルケアは病院前救護ともいう。
- 3 病院外で救急救命士などが医療行為を実施する場合に、医師が指導、助言をして、医行為の質を保証することをメディカルコントロールという。
- 4 CPA(Cardiopulmonary arrest)は日本でのみ使われている。
- 5 鼻咽頭エアウェイは意識がなく咳など上気道の反射がない患者に対して口から挿入する補助器具である。 "

"言葉の定義で間違っているのはどれか。

- 1 AED を公共の場所や多くの人利用する場所にくまなく設置していつでも除細動が使用できるようにすることを PAD (public access defibrillation) という。
- 2 プレホスピタルケアは病院前救護ともいう。
- 3 病院外で救急救命士などが医療行為を実施する場合に、医師が指導、助言をして、医行為の質を保証することをメディカルコントロールという。
- 4 CPA(Cardiopulmonary arrest)は世界で使われている。
- 5 口咽頭エアウェイは意識がなく咳など上気道の反射がない患者に対して口から挿入する補助器具である。 "

"言葉の定義で間違っているのはどれか。

- 1 気道確保の手技で一般市民に対しては下顎挙上法が推奨されている。
- 2 AED を公共の場所や多くの人利用する場所にくまなく設置して、いつでも除細動が使用できるようにすることを PAD (public access defibrillation) という。
- 3 病院外で救急救命士などが医療行為を実施する場合に、医師が指導、助言をして、医行為の質を保証することをメディカルコントロールという。
- 4 CPA(Cardiopulmonary arrest)は世界で使われている。
- 5 口咽頭エアウェイは意識がなく咳など上気道の反射がない患者に対して口から挿入する補助器具である。 "

"心肺蘇生時の人工呼吸で間違っているのはどれか。

- 1 人工呼吸は胸が上がるのが見て分かる程度の吹き込みで行う。

- 2 人工呼吸の1回換気量は6~7ml/kg(体重)である。
  - 3 吹き込みは1分間に10回程度である。
  - 4 循環のある小児・乳児に対して人工呼吸のみをおこなうときは1分間に12~20回を目安とする。
  - 5 気管挿管している患者でも可能なら胸骨圧迫と人工呼吸の比率は30:2が望ましい。"
- "心肺蘇生時の人工呼吸で間違っているのはどれか。

- 1 人工呼吸は胸が上がるのが見て分かる程度の吹き込みで行う。
- 2 人工呼吸の1回換気量は6~7ml/kg(体重)である。
- 3 気管挿管している成人患者では胸骨圧迫と人工呼吸はそれぞれ100回/分、8~10回/分で非同期で行う。
- 4 気管挿管している乳児患者では胸骨圧迫と人工呼吸はそれぞれ100回/分、10~12回/分で非同期で行う。
- 5 循環のある小児・乳児に対して人工呼吸のみをおこなうときは1分間に12~20回を目安とする。 "

"心肺蘇生時に使用される治療の文章で間違っているのはどれか。

- 1 二次救命処置の中で最も有効な治療は心室細動に対する除細動である。
- 2 心肺蘇生により心拍再開した心室細動や無脈性心室頻拍症例に対する軽度低体温療法は神経学的予後改善に寄与する。
- 3 心停止症例に対するバソプレッシンを投与は40単位3回である。
- 4 心停止の患者にはアドレナリン1mgを3~4分毎に使用する。
- 5 欧米ではアミオダロンは電氣的除細動が無効であった症例に対して初回300mgを静脈投与して追加時150mgを静脈投与する。

"

"SIRSの項目に含まれる組み合わせを選択せよ。

- a 体温<36℃
- b 脈拍数>90回/分
- c 呼吸回数<15回/分
- d WBC<12000/mm<sup>3</sup>
- e PaCO<sub>2</sub><32torr

1. a, b, c    2. a, b, e    3. a, d, e    4. b, c, d    5. c, d, e

"

"ショックに関する文章の中で間違いはどれか

- 1 出血性ショックは循環血液減少性ショックである。
- 2 アナフィラキシーショックはII型アレルギーによるショックである。

- 3 神経原性ショックは血液分布異常性ショックを起こす。
- 4 心筋梗塞は心原性ショックをおこす。
- 5 感染性ショックでは血管抵抗は低下している。

"

"ショックに関する文章の中で間違いはどれか

- 1 アナフィラキシーショックでは初期に著名な呼吸困難症状が起きる。
- 2 敗血症性ショックの初期は心拍出量は低下している。
- 3 ショックが遷延すると血圧は低下する。
- 4 外傷患者の一次性ショックは激痛や驚愕などの要因でおきる副交感神経の緊張により受傷直後におきる。
- 5 ショックの患者では動脈血液中の乳酸値は上昇する。"

"ARDSに関する文章の中で正しいものはどれか

- a ARDSの原因で最も多いのは熱傷である。
- b ARDSの死亡率は50%程度である。
- c 胸部レントゲン写真では広範なすりガラス様陰影が見られる。
- d  $\text{PaO}_2/\text{FiO}_2 \leq 200 \text{ mmHg}$
- e 肺動脈楔入圧  $>18 \text{ mmHg}$

1. a, b, c    2. a, b, e    3. a, d, e    4. b, c, d    5. c, d, e"

"急性心不全に関する文章の中で正しいものはどれか。

- a 呼吸不全は左心不全で特徴的的症状である。
- b 過剰心音（Ⅲ音、Ⅳ音）は右心不全で特徴的的症状である。
- c 易疲労感は左心不全で特徴的的症状である。
- d 起坐呼吸は左心不全で特徴的的症状である。
- e 右季肋部痛は右心不全で特徴的的症状である。

1. a, b, c    2. a, b, e    3. a, d, e    4. b, c, d    5. c, d, e"

"急性心不全に関する文章の中で間違いはどれか。

- 1 NYHA分類は自覚症状に基づく重症度分類である。
- 2 高度な身体活動の制限があるが、安静時には無症状なのはNYHA分類Ⅲ度である。
- 3 急性心筋梗塞における心機能障害の重症度分類はKillip分類である。
- 4 Forrester分類は心係数と中心静脈圧で心機能を4つのサブセットに分類してある。
- 5 うっ血状態で使用される利尿薬はフロセミドが第一選択である。

"

"急性腎不全に関する文章の中で間違いはどれか。

- 1 腎性乏尿の尿浸透圧は350mOsm/L未満となる。

- 2 急性腎不全では乏尿があり、腎臓は腫大している。
- 3 前立腺腫大は腎後性腎不全の原因となる。
- 4 造影剤は腎性乏尿を起こす。
- 5 腎前性乏尿では尿中の Na 濃度は高くなる。

"

"下記の文章の中で間違いはどれか。

- 1 播種性血管内凝固症候群では血小板減少が起きる。
- 2 敗血症で発症する播種性血管内凝固症候群では出血症状よりも臓器障害を起こす傾向が高い。
- 3 播種性血管内凝固症候群ではプロトロンビン時間は短縮する。
- 4 多臓器不全の重症度分類には MODS スコアや SOFA スコアが使われている。
- 5 不全臓器数と死亡率は相関する。

"

"重症救急患者管理に関する文章の中で間違いはどれか。

- 1 フォレスタ分類でサブセット II にある患者には利尿剤が適応となる。
- 2 大動脈内バルーンパンピング法では大動脈拡張期圧が上昇することで冠血流を増加させることができる。
- 3 経皮的心肺補助 (PCPS) には冠血流増加や後負荷軽減作用はない。
- 4 人工呼吸器を使うと PaO<sub>2</sub> を上げる効果はあるが PaCO<sub>2</sub> を下げる効果はない。
- 5 気管挿管をせずに陽圧換気する方法として NIPPV (non-invasive positive pressure ventilation) がある。

"

"Japan Coma Scale に関する文章で正しいのはどれか

- a 自分の名前、生年月日が言えないのは 3 である
- b 呼びかけると容易に開眼するのは 10 である。
- c 痛み刺激を加えながら呼びかけるとかろうじて開眼するのは 20 である。
- d 除皮質硬直は 100 になる。
- e 痛み刺激に対して、開眼はしないが刺激部位に手をもってくるのは 200 である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e"

"Glasgow Coma Scale に関する文章で正しいのはどれか

- a 合計点が同じなら神経学的予後は同じである。
- b 呼びかけで開眼するのは E2 である。
- c 痛み刺激を加えながら呼びかけるとかろうじて開眼するのは E1 である。
- d 除皮質硬直は M3 になる。

e 見当識があるのはV5である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e"

"意識障害患者の症状と原因の関係で間違っているのはどれか。

- 1 ばち状指-----CO2ナルコーシス
- 2 徐脈性不整脈-----アダムスーストークス発作
- 3 アセトン臭-----急性アルコール中毒
- 4 縮腫-----モルヒネ中毒
- 5 鮮紅色の皮膚-----CO中毒"

"代謝性アルカローシスをきたす疾患の組み合わせを選べ

- a 頸髄損傷
- b 過換気症候群
- c 下痢症
- d クッシング症候群
- e 睡眠薬過量服薬

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e"

"急性血液浄化法に関する文章で間違いはどれか

- 1 劇症肝炎に対して血漿交換を実施した。
- 2 利尿剤に反応しないうっ血性心不全に対して持続ろ過透析を実施した。
- 3 血漿交換ではアルブミンもろ過される。
- 4 急性血液浄化法の合併症の一つは出血傾向である。
- 5 持続ろ過透析には抗凝固薬は使用しないことが多い。"

"感染経路で間違いはどれか

- a 結核-----空気感染
- b 水痘-----空気感染
- c インフルエンザ----空気感染
- d MRSA-----飛まつ感染
- e 百日咳-----飛まつ感染

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

"

"破傷風に関する文章で間違いはどれか

- 1 破傷風菌はグラム陽性偏性嫌気性桿菌である。
- 2 土壌常在菌である。
- 3 破傷風菌は神経毒素と溶血毒素の両方を持つ。



- 4 運動神経に作用して強直性痙攣を起こすが、自律神経には作用しない。
- 5 ペニシリン G の大量投与療法が第一選択である。

"

"クロストリジウム性ガス壊疽に関する文章で間違いはどれか

- 1 クロストリジウム属の菌は土壌常在菌でグラム陽性桿菌である。
- 2 潜伏期間は 7 日から 10 日程度である。
- 3 患部は初期強い疼痛がある。
- 4 患部の腐敗臭や握雪感は診断の参考になる。
- 5 ワイン色の尿は診断の参考になる。

"

"敗血症に関する文章で間違いはどれか

- 1 肺炎や熱傷は敗血症になると予後不良となる。
- 2 敗血症は感染があり SIRS（全身性炎症反応症候群）を呈している状態である。
- 3 敗血症性ショックに対して強心薬やステロイドを使用することは推奨されない。
- 4 早期に抗菌薬の投与は推奨されている。
- 5 早期の循環安定を目指した積極的輸液は推奨されている。

"

"外傷についての文章で間違いはどれか

- 1 不慮の事故死は全死亡のうちの第 5 位となっている。
- 2 不慮の事故死の内訳では交通事故死が最多である。
- 3 本邦の救命センターの防ぎ得た外傷死の割合は 40%弱である。
- 4 START 式トリアージには呼吸回数は含まれない。
- 5 臀部四肢が長時間圧迫され、骨格筋の融解が生じて急性腎不全や循環不全をきたした状態を Crush syndrome という。

"

"頭頸部外傷に関する文章で間違いはどれか。

- 1 高血圧、徐脈をきたし瞳孔不同があれば脳ヘルニアを考慮すべきである。
- 2 循環や呼吸状態が不安定な患者は全身状態を安定化させてから頭部 CT をとる。
- 3 グラスゴーコーマスケール 8 点以下の頭部外傷は重症と考える。
- 4 上顎骨齒槽突起上方で骨折が起こり、上顎歯列が一塊となって転移するものはルフォール III 型である。
- 5 穿通性頸部損傷では臨床所見でハードサインがみられたら緊急性が高い。

"

"胸部外傷に関する文章で間違いはどれか。

- 1 心臓外傷危険領域 (danger zone)は右鎖骨内側 1 / 3 から左鎖骨中線の間にある四角の領域である。
- 2 ショック状態で頸静脈怒張があり、呼吸音に左右差があれば緊張性気胸が疑われる。
- 3 ショック状態で胸壁の運動異常があればフレイルチェスが疑われる。
- 4 顔面および頸部の点状出血と浮腫は外傷性窒息が疑われる所見である。
- 5 緊張性気胸のレントゲンでは虚脱した肺、縦隔の患側への偏位、健側の横隔膜下降がみられる。

"

"心外傷にともなう心タンポナーデで見られない所見はどれか。

- 1 奇脈
- 2 心音減弱
- 3 頸静脈怒張
- 4 血圧低下
- 5 心電図の高電位

"

"骨盤骨折についての記載で誤りはどれか。

- 1 安定型骨盤骨折は致命傷となることはまれである。
- 2 不安定型骨盤骨折は後腹膜出血をとめないやすく出血性ショックをきたす。
- 3 骨盤骨折の初療時の確定診断は骨盤前後像の単純写真で行う。
- 4 尿道損傷は男性に多く、陰茎部に多い。
- 5 部分不安定骨折や完全不安定骨折は創外固定の適応となる。

"

"広範囲挫滅損傷の組み合わせで適当なものを選べ

- a compartment syndrome----- 5P sign
- b degloving injury----- roller injury
- c crush syndrome----- declamping shock
- d crush syndrome -----volkmann 硬縮
- e reperfusion injury----- myonephropathic metabolic syndrome(MNMS)

1. a, b    2. a, e    3. b, c    4. c, d    5. d, e"

"熱傷に関する文章で間違いはどれか。

- 1 体表面積 15%を超えるⅢ度熱傷では長時間の流水による冷却は行わない。

- 2 重症熱傷では確実な気道確保と静脈ルート確保は早期に実施する。
  - 3 一酸化炭素ヘモグロビン高値が確認されれば100%酸素による人工呼吸を速やかに開始する。
  - 4 輸液を必要とする熱傷患者の輸液はブドウ糖をふくむ維持液輸液を実施する。
  - 5 顔面熱傷と意識障害があれば一酸化炭素中毒の治療も平行して開始する。"
- "成人で頭部と右腕全周と体幹前面にⅢ度熱傷が見られた。熱傷面積を測定するとおよそ何%になるか。

- 1 15%
- 2 20%
- 3 25%
- 4 30%
- 5 35%
- 6 40%

"

"電撃症に関する文章で間違いはどれか。

- 1 腱と神経では腱の方が電流が多く流れる。
- 2 ミオグロビン尿が見られることがある。
- 3 局所の熱傷はⅢ度の様相を呈する。
- 4 進行性壊死がおきることはない。
- 5 受傷後1週間後におきる二次性出血は損傷血管によりできた動脈瘤の破綻による。

"

"急性中毒の文章で間違いはどれか。

- 1 罹患は年間100万人で死亡は年間5000人である。
- 2 基本処置には水洗、胃洗浄、下剤と吸着剤投与、強制利尿などがある。
- 3 有機リン中毒にPAMが有効である。
- 4 アセトアミノフェンの大量服薬に活性炭投与は有効である。
- 5 三環系抗うつ薬のイミプラミンを大量服薬した人に血液透析は有効である。

"

"有機リン中毒の文章で間違いはどれか。

- 1 縮瞳、発汗、筋れん縮を起こす
- 2 徐脈、呼吸障害を起こす。
- 3 有機リン中毒に硫酸アトロピンが有効である。
- 4 コリンエステラーゼは低下する。

5 血液透析は有効である。

"

"熱中症に関する文章で間違いはどれか

- 1 熱射病では体温が40℃以上になる
- 2 意識障害がみられたら救命センターへの搬送が望ましい。
- 3 熱射病は多臓器不全やDICへ伸展すると予後が悪くなる。
- 4 臓器不全の中で肝不全はまれである。
- 5 なるべく早く38℃まで冷却することが大事である。

"

"偶発性低体温症に関する文章で間違いはどれか

- 1 深部体温が35℃以下となるのが定義である。
- 2 低栄養は疲労でも低体温症がおきることがあり二次性偶発性低体温症といわれる。
- 3 高度偶発性低体温症に対して最近では復温は急速に行うことが推奨されている。
- 4 軽度低体温症で心電図変化がでてきて、30℃以下になると心室細動がおきやすくなる。
- 5 高度低体温症では昏睡に陥る。"

"減圧症に関する文章で間違いはどれか

- 1 II型減圧症から減圧療法が必要になる。
- 2 II型減圧症の脊髄型では背部通や四肢麻痺が見られる。
- 3 呼吸困難、ショック、心停止がみられたら動脈ガス塞栓症を考えるべきである。
- 4 関節痛、筋肉痛、しびれ感だけであれば高濃度酸素投与は必要ない。
- 5 水深10m以内からの急浮上では減圧症は発症しない。"

"脳卒中に関する文章で間違いを選択せよ。

- a シンシナチ病院前脳卒中スケールは顔面麻痺、上肢麻痺、言語異常の3項目で評価する。
- b 脳卒中の症状が突発完成したらアテローム血栓性脳梗塞を疑う。
- c 心原生脳塞栓は高齢者に多い。
- d ラクナ梗塞は直径15mm以内の小梗塞である。
- e 脳梗塞の発症早期のCT所見には early CT sign がある。

1. a, b    2. a, e    3. b, c    4. c, d    5. d, e

"

"脳卒中に関する組み合わせで間違いを選択せよ。

- 1 被殻出血----- 対側片麻痺、対側感覚障害、下方への水平性共同偏視
- 2 視床出血----- 対側片麻痺、病巣側への水平性共同偏視
- 3 小脳出血----- 運動失調、健側への水平性共同偏視

- 4 橋出血-----四肢麻痺 縮瞳
- 5 くも膜下出血-----運動麻痺なし、激しい頭痛

"

"髄膜炎に関する文章で間違っているものを選択せよ

- 1 小児の化膿性髄膜炎はインフルエンザ菌、肺炎球菌、髄膜炎菌が多い。
- 2 成人の化膿性髄膜炎は肺炎球菌やグラム陰性桿菌が多い。
- 3 ウイルス性髄膜炎では単純ヘルペスウイルスが多い。
- 4 化膿性髄膜炎の髄液の糖濃度は低下する。
- 5 結核性髄膜炎の髄液は混濁していて多核白血球が増加している"

"脳死に関する文章で間違いを選択せよ

- 1 わが国での脳死は全脳死を対象としている。
- 2 脳死は移植を前提としているときにのみ適応される。
- 3 急性薬物中毒や低体温、代謝内分泌障害は対象外となる。
- 4 脊髄反射は消失してはならない。
- 5 脳死の発生率は全死亡の1%以内である。"

"災害医療についての文章で間違いはどれか

- 1 災害医療では医療資源の需給バランスが崩れている。
- 2 災害医療の3Tはトリアージ、搬送、治療である。
- 3 一般的には一次トリアージは災害現場で行い、二次トリアージは応急救護所で行われる。
- 4 一次トリアージでは30%程度のオーバートリアージが発生する。
- 5 大災害時には航空搬送は効率が悪く役に立たない。

"

"トリアージについての文章で間違いはどれか

- 1 トリアージにおける爪床リフィリング時間は3秒以内が正常である。
- 2 一人30秒以内で実施する。
- 3 広範囲でない熱傷は黄色（Ⅱ 準緊急）に区分される。
- 4 打撲や捻挫で歩行が可能な症例は黄色（Ⅱ 準緊急）に区分される。
- 5 タグは基本的には右手につけられる。"

"言葉の定義で間違っているのはどれか。

- 1 プレホスピタルケアは病院前救護ともいう。
- 2 AED を公共の場所や多くの人が利用する場所にくまなく設置して、いつでも除細動が使用できるようにすることをPAD (public access defibrillation)という。
- 3 病院外で救急救命士などが医療行為を実施する場合に、医師が指導、助言をして、医行為の質を保証することをメディカルコントロールという。

- 4 気道確保の手技で一般市民に対しては下顎挙上法が推奨されている。
- 5 口咽頭エアウェイは意識がなく咳など上気道の反射がない患者に対して口から挿入する補助器具である。"

"ショックに関する文章の中で間違いはどれか。

- 1 出血性ショックは循環血液減少性ショックである。
- 2 心筋梗塞は心原性ショックをおこす。
- 3 神経原性ショックは血液分布異常性ショックを起こす。
- 4 アナフィラキシーショックはⅡ型アレルギーによるショックである。
- 5 感染性ショックでは血管抵抗は低下している。

"

"SIRS の項目に含まれる組み合わせを選択せよ。

- a 体温 < 36°C
- b 脈拍数 > 90 回/分
- c PaCO<sub>2</sub> < 32torr
- d WBC < 12000/mm<sup>3</sup>
- e 呼吸回数 < 15 回/分

1. a, b, c    2. a, b, e    3. a, d, e    4. b, c, d    5. c, d, e

"

"ショックに関する文章の中で間違いはどれか。

- 1 アナフィラキシーショックでは初期か著名な呼吸困難症状が起きる。
- 2 外傷患者の一次性ショックは激痛や驚愕などの要因でおきる副交感神経の緊張により受傷直後におきる。
- 3 ショックが遷延すると血圧は低下する。
- 4 敗血症性ショックの初期は心拍出量は低下している。
- 5 ショックの患者では動脈血液中の乳酸値は上昇する。"

"ARDS に関する文章の中で正しいものはどれか

- a PaO<sub>2</sub>/FiO<sub>2</sub> ≤ 200 mmHg
- b ARDS の死亡率は 50%程度である。
- c 胸部レントゲン写真では広範なすりガラス様陰影が見られる。
- d ARDS の原因で最も多いのは外傷である。
- e 肺動脈楔入圧 > 18mmHg

1. a, b, c    2. a, b, e    3. a, d, e    4. b, c, d    5. c, d, e"

"ARDS に関する文章の中で正しいものはどれか

- 1 PaO<sub>2</sub>/FiO<sub>2</sub> > 200 mmHg
- 2 ARDS の死亡率は90%程度である。
- 3 胸部レントゲン写真では広範なすりガラス様陰影が見られる。
- 4 ARDS の原因で最も多いのは外傷である。
- 5 肺動脈楔入圧 >18mmHg

"

"急性心不全に関する文章の中で正しいものはどれか。

- a 易疲労感は左心不全で特徴的的症状である。
- b 過剰心音（Ⅲ音、Ⅳ音）は右心不全で特徴的的症状である。
- c 呼吸不全は左心不全で特徴的的症状である。
- d 起坐呼吸は左心不全で特徴的的症状である。
- e 右季肋部痛は右心不全で特徴的的症状である。

1. a, b, c    2. a, b, e    3. a, d, e    4. b, c, d    5. c, d, e"

"急性心不全に関する文章の中で間違いはどれか。

- 1 NYHA 分類は自覚症状に基づく重症度分類である。
- 2 高度な身体活動の制限があるが、安静時には無症状がないのは NYHA 分類Ⅲ度である。
- 3 Killip 分類は急性心筋梗塞における心機能障害の重症度分類である。
- 4 うっ血状態で使用される利尿薬はフロセミドが第一選択である。
- 5 Forrester 分類は心係数と中心静脈圧で心機能を4つのサブセットに分類してある。

"

"急性腎不全に関する文章の中で間違いはどれか。

- 1 腎性乏尿の尿浸透圧は 350mOsm/L 未満となる。
- 2 急性腎不全では乏尿があり、腎臓は腫大している。
- 3 前立腺腫大は腎後性腎不全の原因となる。
- 4 腎前性乏尿では尿中の Na 濃度は高くなる。
- 5 造影剤は腎性乏尿を起こす危険性がある。

"

"下記の文章の中で間違いはどれか。

- 1 播種性血管内凝固症候群では血小板増加が起きる。
- 2 敗血症で発症する播種性血管内凝固症候群では出血症状よりも臓器障害を起こす傾向が高い。
- 3 播種性血管内凝固症候群ではプロトロンビン時間は延長する。
- 4 多臓器不全の重症度分類には MODS スコアや SOFA スコアが使われている。
- 5 不全臓器数と死亡率は相関する。

"

"重症救急患者管理に関する文章の中で間違いはどれか。

- 1 フォレスタ分類でサブセットⅡにある患者には利尿剤が適応となる。
- 2 大動脈内バルーンパンピング法では大動脈拡張期圧が上昇することで冠血流を増加させることができる。
- 3 経皮的心肺補助 (PCPS)には冠血流増加や後負荷軽減作用がある。
- 4 人工呼吸器を使うと PaO<sub>2</sub> を上げたり PaCO<sub>2</sub> を下げたりする効果がある。
- 5 気管挿管をせずに陽圧換気する方法として NIPPV (non-invasive positive pressure ventilation)がある。

"

"Japan Coma Scale に関する文章で正しいのはどれか

- a 自分の名前、生年月日が言えないのは3である
- b 呼びかけると容易に開眼するのは30である。
- c 痛み刺激を加えながら呼びかけるとかろうじて開眼するのは20である。
- d 除皮質硬直は100になる。
- e 痛み刺激に対して、開眼はしないが刺激部位に手をもってくるのは100である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e"

"Glasgow Coma Scale に関する文章で正しいのはどれか

- a 合計点が同じなら神経学的予後は同じである。
- b 痛み刺激を加えながら呼びかけるとかろうじて開眼するのはE1である。
- c 呼びかけで開眼するのはE2である。
- d 見当識があるのはV5である。
- e 除皮質硬直はM3になる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e"

"意識障害患者の症状と原因の関係で間違っているのはどれか。

- 1 ばち状指-----CO<sub>2</sub> ナルコーシス
- 2 アセトン臭-----急性アルコール中毒
- 3 徐脈性不整脈-----アダムスーストークス発作
- 4 縮瞳-----モルヒネ中毒
- 5 鮮紅色の皮膚-----CO中毒"

"代謝性アルカローシスをきたす疾患の組み合わせを選べ

- a 頸髄損傷
- b 過換気症候群



- c 睡眠薬過量服薬
- d クッシング症候群
- e 下痢症

1. a, b    2. a, e    3. b, c    4. c, d    5. d, e"

"急性血液浄化法に関する文章で間違いはどれか

- 1 劇症肝炎に対して血漿交換を実施した。
- 2 利尿剤に反応しないうっ血性心不全に対して持続ろ過透析を実施した。
- 3 血漿交換ではアルブミンもろ過される。
- 4 持続ろ過透析には抗凝固薬は使用しない。
- 5 急性血液浄化法の合併症の一つは出血傾向である。"

"感染経路で空気感染でないものはどれか

- a 結核
- b 水痘
- c インフルエンザ
- d MRSA
- e 麻疹

1. a, b    2. a, e    3. b, c    4. c, d    5. d, e

"

"破傷風に関する文章で間違いはどれか

- 1 破傷風菌はグラム陽性嫌気性桿菌である。
- 2 土壌常在菌である。
- 3 運動神経に作用して強直性痙攣を起こすが、自律神経には作用しない。
- 4 破傷風菌は神経毒素と溶血毒素の両方を持つ。
- 5 ペニシリン G の大量投与療法が第一選択である。

"

"クロストリジウム性ガス壊疽に関する文章で間違いはどれか

- 1 クロストリジウム属の菌は土壌常在菌でグラム陽性桿菌である。
- 2 ワイン色の尿は診断の参考になる。
- 3 患部は初期に強い疼痛がある。
- 4 患部の腐敗臭や握雪感は診断の参考になる。
- 5 潜伏期間は 7 日から 10 日程度である。

"

"敗血症に関する文章で間違いはどれか

- 1 腭炎や熱傷は敗血症になると予後不良となる。
- 2 敗血症は感染があり SIRS（全身性炎症反応症候群）を呈している状態である。
- 3 敗血症性ショックに対して強心薬やステロイドを使用することは推奨される。
- 4 早期の抗菌薬の投与は推奨されていない。
- 5 早期の循環安定を目指した積極的輸液は推奨されている。

"

"外傷についての文章で間違いはどれか

- 1 不慮の事故死は全死亡のうちの第5位となっている。
- 2 不慮の事故死の内訳では交通事故死が最多である。
- 3 本邦の救命センターの防ぎ得た外傷死の割合は40%弱である。
- 4 START式トリアージには呼吸回数は含まれない。
- 5 Crush syndromeは臀部四肢が長時間圧迫されることでおきる。

"

"頭頸部外傷に関する文章で間違いはどれか。

- 1 高血圧、徐脈をきたし瞳孔不同があれば脳ヘルニアを考慮すべきである。
- 2 循環や呼吸状態が不安定な患者は全身状態を安定化させてから頭部CTをとる。
- 3 グラスゴーコーマスケール9点以上の頭部外傷は重症と考える。
- 4 上顎骨歯槽突起上方で骨折が起こり、上顎歯列が一塊となって転移するものはルフォールI型である。
- 5 穿通性頸部損傷では臨床所見でハードサインがみられたら緊急性が高い。

"

"胸部外傷に関する文章で間違いはどれか。

- 1 心臓外傷危険領域(danger zone)は右鎖骨内側1/3から左鎖骨中線の間にある四角の領域である。
- 2 ショック状態で頸静脈怒張があり、呼吸音に左右差があれば心タンポナーデが疑われる。
- 3 ショック状態で胸壁の運動異常があればフレイルチェストが疑われる。
- 4 顔面および頸部の点状出血と浮腫は外傷性窒息が疑われる所見である。
- 5 緊張性気胸のレントゲンでは虚脱した肺、縦隔の患側への偏位、患側の横隔膜下降がみられる。

"

"心外傷にともなう心タンポナーデで見られない所見はどれか。

- 1 奇脈
- 2 心音減弱
- 3 皮下気腫
- 4 血圧低下
- 5 頸静脈怒張

"

"骨盤骨折についての記載で誤りはどれか。

- 1 安定型骨盤骨折は致命傷となることはまれである。
- 2 不安定型骨盤骨折は後腹膜出血をとめないやすく出血性ショックをきたす。
- 3 骨盤骨折の初療時の確定診断は骨盤前後像の単純写真で行う。
- 4 尿道損傷は男性に多く、尿道中枢部に多い。
- 5 部分不安定骨折や完全不安定骨折は創外固定の適応とはならない。

"

"広範囲挫滅損傷の組み合わせで間違いを選べ。

- 1 compartment syndrome----- 5P sign
- 2 degloving injury----- roller injury
- 3 crush syndrome----- 尿崩症
- 4 compartment syndrome----- volkmann 硬縮
- 5 reperfusion injury----- myonephropathic metabolic syndrome(MNMS)

"

"熱傷に関する文章で間違いはどれか。

- 1 体表面積 15%を超えるⅢ度熱傷では長時間の流水による冷却は行わない。
- 2 重症熱傷では確実な気道確保と静脈ルート確保は早期に実施する。
- 3 一酸化炭素ヘモグロビン高値が確認されれば100%酸素による人工呼吸を速やかに開始する。
- 4 顔面熱傷と意識障害があれば一酸化炭素中毒の治療も平行して開始する。
- 5 輸液を必要とする熱傷患者の輸液はブドウ糖をふくむ維持液輸液を実施する。"

"成人で頭部顔面と右腕全周と体幹前面にⅢ度熱傷が見られた。熱傷面積を測定するとおよそ何%になるか。9の法則を使い概算せよ。

- 1 15%
- 2 20%
- 3 25%
- 4 30%
- 5 35%

"

"電撃症に関する文章で間違いはどれか。

- 1 腱と神経では腱の方が電流が多く流れる。
- 2 ミオグロビン尿は見られない。
- 3 局所の熱傷はⅢ度の様相を呈する。
- 4 進行性壊死がおきる。
- 5 受傷後1週間後におきる二次性出血は損傷血管によりできた動脈瘤の破綻による。

"

"急性中毒の文章で間違いはどれか。

- 1 胃洗浄は誤嚥を起こす危険がある。
- 2 基本処置には水洗、胃洗浄、下剤と吸着剤投与、強制利尿などがある。
- 3 有機リン中毒にPAMが有効である。
- 4 アセトアミノフェンの大量服薬に活性炭投与は有効である。
- 5 腸洗浄は経口摂取したあらゆる薬剤の優れたエビデンスがある。

"

"有機リン中毒の文章で間違いはどれか。

- 1 縮瞳、発汗、筋れん縮を起こす
- 2 徐脈、呼吸障害を起こす。
- 3 コリンエステラーゼは低下する。
- 4 有機リン中毒に硫酸アトロピンが有効である。
- 5 血液浄化法は非常に有効である。

"

"熱中症に関する文章で間違いはどれか

- 1 熱射病では体温が40℃以上になる。
- 2 意識障害がみられたら救命センターへの搬送が望ましい。
- 3 熱射病は多臓器不全やDICへ伸展すると予後が悪くなる。
- 4 なるべく早く38℃まで冷却することが大事である。
- 5 重症症例でも肝不全はまれである。

"

"偶発性低体温症に関する文章で間違いはどれか

- 1 深部体温が35℃以下となるのが定義である。

- 2 低栄養や疲労でも低体温症がおきることがあり二次性偶発性低体温症といわれる。
- 3 高度低体温症では意識は比較的保たれる。
- 4 中等度低体温症で心電図変化がでてきて、30℃以下になると心室細動がおきやすくなる。
- 5 高度偶発性低体温症に対して最近では復温は急速に行うことが推奨されている。"

"減圧症に関する文章で間違いはどれか

- 1 II型減圧症から減圧療法が適応となる。
- 2 II型減圧症の脊髄型では背部痛や四肢麻痺が見られる。
- 3 呼吸困難、ショック、心停止がみられたら動脈ガス塞栓症を考えるべきである。
- 4 関節痛、筋肉痛、しびれ感だけであれば高濃度酸素投与は必要ない。
- 5 水深10m以内からの急浮上では減圧症は発症しない。"

"高山病に関する文章で間違いはどれか

- 1 重症例は肺水腫をおこす。
- 2 重症例でも意識障害は起こらない。
- 3 急性高山病では悪心、嘔吐のような消化器症状がでる。
- 4 急性高山病ではめまいやたちくらみが起きることがある。
- 5 症状がでたら下山が原則である。"

"脳卒中に関する組み合わせで間違いを選択せよ。

- 1 被殻出血----- 対側片麻痺、水平性共同偏視
- 2 視床出血-----対側片麻痺、対側感覚障害 縮瞳
- 3 小脳出血----- 運動失調、健側への水平性共同偏視
- 4 橋出血-----四肢麻痺 縮瞳
- 5 くも膜下出血-----運動麻痺なし、激しい頭痛

"

"脳卒中に関する文章で間違いを選択せよ。

- a シンシナチ病院前脳卒中スケールは顔面麻痺、上肢変位、言語異常の3項目で評価する。
- b 脳卒中の症状が突発完成したらアテローム血栓性脳梗塞を疑う。
- c 心原性脳塞栓は高齢者に多い。
- d ラクナ梗塞は直径30mm以内の小梗塞である。
- e 脳梗塞の発症早期のCT所見には early CT sign がある。

1. a, b, c    2. a, b, e    3. a, d, e    4. b, c, d    5. c, d, e

"

"髄膜炎に関する文章で間違っているものを選択せよ

- 1 小児の化膿性髄膜炎はインフルエンザ菌、肺炎球菌、髄膜炎菌が多い。

- 2 成人の化膿性髄膜炎は肺炎球菌やグラム陰性桿菌が多い。
- 3 ウイルス性髄膜炎では単純ヘルペスウイルスが多い。
- 4 結核性髄膜炎の髄液は混濁していて多核白血球が増加している
- 5 化膿性髄膜炎の髄液の糖濃度は低下する。"

"脳死に関する文章で間違いを選択せよ。

- 1 わが国での脳死は脳幹死を対象としている。
- 2 脳死は移植を前提としているときにのみ適応される。
- 3 急性薬物中毒や低体温、代謝内分泌障害は対象外となる。
- 4 脳死患者では脊髄反射が見られことがある。
- 5 脳死の発生率は全死亡の1%以内である。"

"災害医療についての文章で間違いはどれか。

- 1 災害医療では医療資源の需給バランスは均衡が保たれている。
- 2 災害医療の3Tはトリアージ、搬送、治療である。
- 3 一般的には一次トリアージは災害現場で行い、二次トリアージは応急救護所で行われる。
- 4 一次トリアージでは30%程度のオーバートリアージが発生する。
- 5 大災害時でも航空搬送は機能しやすい。

"

"トリアージについての文章で間違いはどれか。

- 1 トリアージにおける爪床圧迫再循環時間は2秒以内が正常である。
- 2 一次トリアージは一人30秒以内で実施する。
- 3 広範囲でない熱傷は黄色（Ⅱ 準緊急）に区分される。
- 4 打撲や捻挫で歩行が可能な症例は黄色（Ⅱ 準緊急）に区分される。
- 5 タグは基本的には右手につけられる。"

"言葉の定義で間違っているのはどれか。

- 1 プレホスピタルケアは病院前救護ともいう。
- 2 AED を公共の場所や多くの人が利用する場所にくまなく設置して、いつでも除細動が使用できるようにすることを PAD (public access defibrillation) という。
- 3 病院外で救急救命士などが医療行為を実施する場合に、医師が指導、助言をして、医行為の質を保証することをメディカルコントロールという。
- 4 気道確保の手技で一般市民に対しては下顎挙上法が推奨されている。
- 5 口咽頭エアウェイは意識がなく咳など上気道の反射がない患者に対して口から挿入する補助器具である。"

"急性冠症候群について正しくないのはどれか。

- 1 80%は粥腫の破綻と破綻部の血栓形成が原因である。
- 2 虚血発作時には心電図のSTは全例上昇する。

- 3 自覚症状としては胸痛が最も多い。
- 4 不安定狭心症では心筋傷害マーカーのトロポニン T は上昇しない。
- 5 安静でも 20 分以上胸痛が持続する症例は高リスク群になる。"

"急性冠症候群について正しくないのはどれか。

- 1 心エコー検査は心筋の虚血領域を評価するのに有用である。
- 2 H-FABP はトロポニン T に比較して発症早期の感度は高い。
- 3 CK-MB とトロポニン T の診断感度は同程度である。
- 4 心電図の異常 Q 波は心筋梗塞初期から見られることが多い。
- 5 下壁梗塞では II III aVf の誘導で ST が上昇する。"

"ST 上昇もしくは非上昇の急性冠動脈症候群に対する初期治療としてふさわしくないものはどれか。

- 1 モルヒネ
- 2 硝酸薬
- 3 アスピリン
- 4 酸素投与
- 5 リドカイン"

"急性冠動脈症候群 (ACS)に関する文章で誤っているのはどれか。

- 1 ACS のほとんどは虚血性突然死により病院到着後に死亡している。
- 2 ACS の既往のある家族に BLS や AED の使用法を習得してもらうのは推奨される。
- 3 公共の安全に携わる人が AED に習熟してもらうのは推奨される。
- 4 地域社会で救命の鎖を創設し、維持していくことは推奨される。
- 5 虚血性突然死の原因として VF などの不整脈が考えられる。"

"左心不全に見られる所見はどれか。

- a 起坐呼吸
- b 発作性夜間呼吸困難
- c 肝腫大
- d 頸静脈怒張
- e 急性肺水腫

1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e"

"右心不全の原因として正しいのはどれか。

- a 高度不整脈
- b 心タンポナーデ
- c 肺梗塞
- d 肺高血圧
- e 心筋梗塞

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e"

"可逆的な心停止の原因に含まれないのはどれか。

- 1 低体温
- 2 高カリウム血症
- 3 糖尿病
- 4 心筋梗塞
- 5 低酸素血症"

"Torsades de pointes に関する文章で間違っているのはどれか。

- 1 女性に多い
- 2 中年に多い
- 3 抗不整脈薬が誘引となることがある
- 4 デルタ波は特徴的である。
- 5 電気的除細動の絶対適応である。

"

"以下の文章で間違っているのはどれか。

- 1 洞機能不全症候群はペースメーカーの適応となる。
- 2 III度の房室ブロックはペースメーカーの適応となる。
- 3 I度の房室ブロックはペースメーカーの適応となる。
- 4 心室性期外収縮はVFの原因となる。
- 5 WPW 症候群では副伝導路遮断術が実施されることがある。

"

"AED の操作順に関する文章で正しいのはどれか。

- 1 器械の指示に従い放電ボタンを押す
- 2 電源ボタンを押す
- 3 電極パットを貼る
- 4 器械が自動的に解析を始める
- 5 適応があれば自動的に充電される

a 3⇒2⇒4⇒1⇒5      b 2⇒3⇒4⇒5⇒1      c 3⇒2⇒4⇒5⇒1

d 3⇒2⇒5⇒4⇒1      e 2⇒3⇒5⇒4⇒1

"

"大動脈瘤についての文章で間違いはどれか。

- 1 腹部大動脈瘤は腎動脈分岐部以下に多い。
- 2 腹部大動脈瘤は待機手術でも破裂後の緊急手術でも手術成績や予後は変わらない。
- 3 胸部大動脈瘤が大きくなると反回神経麻痺が起きる。



- 4 大動脈瘤の確定診断は造影 CT や超音波で行う。
- 5 大動脈瘤の患者が突然のショックに陥ったら大動脈瘤の破裂を想起しなくてはいけない。"

"大動脈瘤についての文章で間違いはどれか。

- 1 腹部大動脈瘤は腎動脈分岐部以下に多い。
- 2 腹部大動脈瘤は待機手術でも破裂後の緊急手術でも手術成績や予後は変わらない。
- 3 胸部大動脈瘤が大きくなると反回神経麻痺が起きる。
- 4 大動脈瘤の確定診断は造影 CT や超音波で行う。
- 5 大動脈瘤の患者が突然のショックに陥ったら大動脈瘤の破裂を想起しなくてはいけない。"

"急性大動脈解離の文章で誤っているのはどれか。

- 1 内膜に亀裂が生じて中膜が解離して腔（偽腔）を形成したものである。
- 2 Marfan 症候群は急性大動脈解離のリスクファクターである。
- 3 急性大動脈解離患者の基礎疾患には高血圧はまれである。
- 4 急に発症した激しい持続性の胸痛・背部痛がよくみられる症状である。
- 5 Stanford 分類 A 型 は緊急手術となる。"

"急性大動脈解離の文章で誤っているのはどれか。

- 1 内膜に亀裂が生じて中膜が解離して腔（偽腔）を形成したものである。
- 2 Marfan 症候群は急性大動脈解離のリスクファクターである。
- 3 急性大動脈解離患者の基礎疾患には高血圧はまれである。
- 4 Stanford 分類 A 型 は緊急手術となる。
- 5 急に発症した激しい持続性の胸痛・背部痛がよくみられる症状である。"

"脳死判定の除外例に含まれないものを選択せよ。

- 1 6 歳未満
- 2 直腸温 32℃以下の低体温
- 3 急性薬物中毒
- 4 肝性脳症による昏睡
- 5 40℃以上の高体温

"

"トリアージ区分の赤に相当する病態でないものはどれか

- 1 下腿骨折
- 2 気道閉塞
- 3 ショック
- 4 頭部外傷で瞳孔不同あり
- 5 広範囲熱傷

"

"1 次トリアージを実施した。区分の黄に相当する病態であるものはどれか

- 1 呼吸回数35回の過換気であったが外傷はなく歩行ができた。
- 2 呼吸回数12回 脈拍100回で従命可能 大腿変形があり歩行できない。
- 3 呼吸回数20回 爪床圧迫再循環時間(CRT)1秒、頭部外傷があり従命が入らない。
- 4 呼吸回数15回 爪床圧迫再循環時間(CRT)3秒、自分の名前や日付は答えられる。
- 5 胸部打撲があり、顔面蒼白。心拍数150回

"

"脳卒中に関する文章で間違いを選択せよ。

- a 寝たきり患者の約40%は脳血管障害が原因である。
- b シンシナチ病院前脳卒中スケールには瞳孔不同も含まれる。
- c early CT sign で脳出血であることが分かる。
- d 塞栓の原因として心房細動がある。
- e tPA は3時間以内なら心原生脳塞栓にもラクナ梗塞にも、アテローム血栓性梗塞にも使うことができる。

"

"脳内出血に関する文章で間違いを選択せよ。

- a 近年は脳卒中全体との割合では脳内出血は減少傾向にある。
- b 死亡率は脳梗塞の方が高い。
- c 高血圧性脳出血の好発部位は中脳である。
- d 脳動静脈奇形は高齢者の脳内出血の原因となる。
- e 高齢者の皮質下出血はアミロイド血管症を原因としたものが多い。

1. a, b, c    2. a, b, e    3. a, d, e    4. b, c, d    5. c, d, e

"

"脳内出血に関する文章で間違いを選択せよ。

- a 発症は前駆症状がなく突然発症することが多い。
- b 日常活動時や食事に発症することが多い。
- c 脳局所症状は数分から数時間のうちに完成する。
- d 頭痛をきたす症例は珍しい。
- e ほとんどの症例は意識は清明である。

1. a, b, c    2. a, b, e    3. a, d, e    4. b, c, d    5. c, d, e

"

"食事中に突然発症した60歳男性の頭部CT(図7)である。以下の文章で間違いを選択

せよ。

- 1 脳幹出血である。
- 2 嘔吐に気をつける。
- 3 頭痛が見られる。
- 4 左麻痺がある。
- 5 左の感覚障害がある。"

"くも膜下出血についての文章で間違っているのはどれか。

- 1 脳動脈瘤破裂によるものが70～80%を占める。
- 2 脳動脈瘤は Willis 動脈輪前半部の血管分岐部に好発する。
- 3 いままで経験したことのない頭痛は典型的症状である。
- 4 嘔気嘔吐を伴うことが多い。
- 5 失語症は早期から必発である。"

"くも膜下出血についての文章で間違っているのはどれか。

- 1 重症例は昏睡や心肺停止に陥ることがある。
- 2 髄膜刺激症状は発症早期から陽性となることが多い。
- 3 ほとんどの症例は CT で確定診断できる。
- 4 CT で診断がつかないときには腰椎穿刺による血性髄液の有無を調べる。
- 5 再破裂は発症後6時間以内に多い"

"くも膜下出血についての文章で正しいのはどれか。

- a くも膜下出血の重症度分類として Killip 分類が有名である。
- b 脳動静脈奇形はくも膜下出血の原因とならない。
- c CT では高吸収域として白く描出される。
- d 診断がついたら血圧管理を厳重に実施する。
- e クリッピングや血管内塞栓術が根本治療となる。

1. a, b, c    2. a, b, e    3. a, d, e    4. b, c, d    5. c, d, e"

"けいれんについての文章で間違いはどれか。

- 1 てんかんは脳波異常はあるが、画像診断で器質異常を指摘できない。
- 2 症候性痙攣とは器質異常がある症例のけいれん発作である。
- 3 てんかんの間代性発作は全般発作である。
- 4 てんかんの強直性発作は部分発作である。
- 5 てんかんの部分発作では意識障害は起きない。

"

"熱性けいれんについての文章で間違いはどれか。

- 1 持続時間は長くても数分でおさまる。

- 2 好発年齢は3ヶ月から5才以下の乳幼児である。
- 3 学童期には熱性けいれんはなくなる。
- 4 解熱後に繰り返すことはない。
- 5 1回の発作でも重篤な後遺症を残す。

"

"頭部 CT 検査 (図8) の診断で正しいのはどれか。

- 1 被殻出血
- 2 視床出血
- 3 小脳出血
- 4 橋出血
- 5 くも膜下出血

"

"日射病についての記載で誤っているのはどれか。

- 1 日光に暴露することで発症する熱中症を日射病と呼ぶ。
- 2 日光照射を頭部や頸部にうけて体温中枢が失調する。
- 3 発汗がみられ、頭痛や全身倦怠感などの症状がでる。
- 4 体温は40℃以上に上昇する。
- 5 涼しい場所で臥床、安静にして、水分と塩分を補給する。"

"熱中症に関する文章で間違いはどれか

- 1 熱射病では体温が40℃以上になる
- 2 意識障害がみられたら救命センターへの搬送が望ましい。
- 3 熱射病は多臓器不全やDICへ伸展すると予後が悪くなる。
- 4 重症症例でも肝不全はまれである。
- 5 なるべく早く38℃まで冷却することが大事である。

"

"熱中症に関する文章で間違いはどれか。

- 1 熱射病は高温多湿の環境下での労働を行った際に発症しやすい。
- 2 熱射病では意識障害がみられる。
- 3 熱射病は多臓器不全に陥りやすい。
- 4 体温は40℃以上になる。
- 5 横紋筋融解症が起きることはまれである。"

"偶発性低体温症に関する文章で間違いはどれか

- 1 アルコール酩酊や睡眠薬服用は低体温症になりやすくなる。
- 2 健康だった人が低温環境に暴露して発症するのは二次性偶発性低体温症といわれる。
- 3 軽度低体温(32~35℃)では過呼吸となる。

- 4 低体温になるに従い特徴的な心電図変化がおきる。
- 5 高度低体温では脳波は平坦化する。"

"減圧症に関する文章で間違いはどれか

- 1 以前は潜水病や潜函病とも呼ばれていた。
- 2 高圧環境下で生体内に溶解していた不活性ガスの気泡化が原因で発症する。
- 3 減圧症で問題になる不活性ガスは主にオゾンである。
- 4 重症例は浮上後から発症までの時間は短い。
- 5 重症減圧障害発症の要因は深く長い潜水である。"

"次の文章で間違いはどれか。

- a 分布容量(Vd : volume of distribution) は物質の体内への広がりを示すパラメーターである。
- b 血漿中の薬物の蛋白結合のほとんどはグロブリンである。
- c 一般的には分布容量が大きい薬物は血漿中に溶存している率が高くなるので血液浄化法で除去されやすい。
- d 一般的には分布容量が小さい薬物は血漿中に溶存している率が高くなるので血液浄化法で除去されやすい。
- e 蛋白結合率の高い薬物は血漿内遊離型薬物量が少なくなる。

1. a, b, c    2. a, b, e    3. a, d, e    4. b, c, d    5. c, d, e"

"活性炭が有効な薬物の条件で間違いはどれか。

- 1 分布容量が小さい。
- 2 蛋白結合率が低い。
- 3 脂溶性
- 4 非イオン化物
- 5 服用から長時間経過

"

"一酸化炭素 (CO)中毒に関する文章で正しいのはどれか。

- a 死亡例では自動車の排気ガスによる中毒が増えている。
- b ヘモグロビンは CO よりも酸素に対する親和性が高い。
- c CT 検査では小脳の低吸収域像が特徴的所見である。
- d いったん回復した後、再び昏睡にまでいたる間欠型一酸化炭素中毒がある。
- e 治療法として純酸素投与や高気圧酸素療法がある。

1. a, b, c    2. a, b, e    3. a, d, e    4. b, c, d    5. c, d, e

"

"以下の文章で間違いはどれか。

- a 尿量増加により尿中の薬物濃度希釈がおきて遠位尿細管での再吸収が抑えられ薬物が除去されるのが強制利尿の原理である。
- b イオン化した物質は遠位尿細管で再吸収されないのを尿を酸性やアルカリ性にして（非イオン化して）薬物除去の効率を上げる。
- c イオン化率の高い薬物は強制利尿が有効である
- d 強制利尿では輸液負荷せず利尿剤を使用する
- e 強制利尿には5%ブドウ糖液が頻用される。

1. a, b    2. a, e    3. b, c    4. c, d    5. d, e

"

"薬物と拮抗薬の関係で間違いはどれか。

- 1 青酸化合物・・・亜硝酸
- 2 ベンゾジアゼピン・・・フルマゼニル
- 3 アセトアミノフェン・・・Nアセチルシステイン
- 4 クマリン系殺鼠薬・・・ビタミンD
- 5 有機リン・・・・・・・・・・PAM

"

"パラコート中毒について間違っているのはどれか。

- 1 予後の良い中毒である。
- 2 分布容量は高い。
- 3 肺に集積する傾向がある。
- 4 肝障害や腎障害も数日して発症する。
- 5 口腔内の青緑色の着色、口腔内びらんは診断に役立つ。

"

"火炎熱傷による患者（図4）が搬送された。この症例に関する文章で間違いはどれか。

- 1 将来植皮が必要になる。
- 2 気道熱傷の可能性は低い。
- 3 一酸化炭素ヘモグロビン高値が確認されれば100%酸素による人工呼吸を速やかに開始する。
- 4 胸部の減張切開が必要になる可能性がある。
- 5 ヘモグロビン尿がみられる。"

"Ⅲ度熱傷は図1のどの領域まで深達しているときに呼称されるか。

- 1 ①

2 ②

3 ③

4 ④

5 ⑤"

"I度熱傷は図1のどの領域まで深達しているときに呼称されるか。

1 ①

2 ②

3 ③

4 ④

5 ⑤"

"II度熱傷の deep dermal burn DDB は図1のどの領域まで深達しているときに呼称されるか。

1 ①

2 ②

3 ③

4 ④

5 ⑤"

"II度熱傷の superficial dermal burn SDB は図1のどの領域まで深達しているときに呼称されるか。

1 ①

2 ②

3 ③

4 ④

5 ⑤"

"熱湯の入ったポットがこぼれて受傷した患者が来院した。強い痛みを訴えている。図2のような右手であった。

正しいものを選択せよ。

1 I度熱傷である。

2 II度熱傷 SDB である。

3 II度熱傷 DDB である。

4 III度熱傷である。

5 いずれとも判別できない。"

"ガス爆発により受傷した患者が来院した。図3のような左手であった。手背部の疼痛はほとんど感じられなかった。

正しいものを選択せよ。

1 I度熱傷である。

- 2 II度熱傷 SDB である。
- 3 II度熱傷 DDB である。
- 4 III度熱傷である。
- 5 いずれとも判別できない。 "

"火炎熱傷による患者（図4）が搬送された。この症例に関する文章で間違いはどれか。

- 1 大部分がI度熱傷である。
- 2 大部分がII度熱傷 SDB である。
- 3 大部分がII度熱傷 DDB である。
- 4 大部分がIII度熱傷である。
- 5 いずれとも判別できない。 "

"トリアージについての文章で間違いはどれか。

- 1 複数患者の緊急度を評価する。
- 2 複数患者の重症度を評価する。
- 3 複数患者の搬送優先順位を決定する。
- 4 複数患者の治療優先順位を決定する。
- 5 トリアージが災害現場で行い、医療機関入り口では行わない。

"

"トリアージについての文章で正しいはどれか。

- 1 緊急治療群は赤色でIである。
- 2 準緊急治療群は黄色でIIである。
- 3 待機群は緑色でIIIである。
- 4 死亡群は黒色でIVである。
- 5 上記のすべて正しい。

"

"外傷初期診療についての文章で間違いはどれか。

- 1 primary survey では蘇生の必要性を判断する目的で生理学的兆候を評価する。
- 2 secondary survey では治療を必要とする損傷を検索するために解剖学的評価をする。
- 3 primary survey の B は Bleeding で出血部位を検索することである。
- 4 primary survey の A は 気道の評価で開通の有無をみる。
- 5 secondary は受傷機転などの情報の聴取と系統的な身体診察が含まれる。



"

"頭部外傷を受傷している患者に対して治療中である。二次性脳損傷の原因となるものはどれか。

- 1 低血圧
- 2 低酸素血症
- 3 発熱
- 4 貧血
- 5 1～4のすべて

"

"頭部外傷を受傷している開頭術後の小児の患者（図5）である。以下の文章で間違いはどれか。

- 1 頭蓋底骨折が疑われる。
- 2 両眼瞼の皮下血腫はバトル徴候と呼ばれる。
- 3 意識障害が疑われる。
- 4 高二酸化炭素血症や低酸素血症にならないように人工呼吸管理をする。
- 5 鼻や耳からの髄液漏出を診察する必要がある。

"

"頭部の解剖についての文章で間違いはどれか。

- 1 頭蓋骨は脳頭蓋と顔面頭蓋からなり、前者を頭蓋円蓋部と頭蓋底に区分される。
- 2 側頭骨は前頭骨に比べて薄い。
- 3 後頭蓋窩には小脳と脳幹が存在する。
- 4 言語中枢のある大脳半球を劣位半球という。
- 5 前頭葉は感情と運動を担当している。

"

"頭部の解剖についての文章で間違いはどれか。

- 1 頭頂葉は知覚と空間認識を担当している。
- 2 側頭葉は記憶を担当している。
- 3 上行網様体は脳幹にあり意識の覚醒をつかさどる。
- 4 視床や視床下部は中脳にある。
- 5 延髄は呼吸や循環を調節している。

"

"頭部外傷の患者が搬入された。secondary survey で撮影した CT 画像（図 2）を参照して以下の文章で正しいものを選択せよ。

- a 急性硬膜外血腫である。
- b 急性硬膜下血腫である。
- c 呼吸パターンは正常である。
- d 瞳孔は正円同大で対光反射は両側迅速であった。
- e 受傷直後は意識が清明であったが次第に低下して昏睡になった。

1. a, b    2. a, e    3. b, c    4. c, d    5. d, e

"

"AED を用いた除細動に関して正しくないのはどれか。

- a 医学生は AED を使用してはいけない。
- b 呼吸がある場合は AED を装着しない。
- c 汗でぬれている場合は拭いてから AED を装着する。
- d AED を装着する前に胸骨圧迫式心マッサージを 10 分間行う。
- e AED を装着した状態で胸骨圧迫式心マッサージを行ってはいけない。"

"駅の構内で中年男が倒れているのを発見した。まず行うのはどれか。

- a 脈の蝕知
- b 呼吸の確認
- c 気道の確保
- d 意識状態の確認
- e 対光反射の確認"

"一次救命処置の心マッサージの回数で適切なのはどれか。

- a 10 回／分
- b 20 回／分
- c 30 回／分
- d 60 回／分
- e 100 回／分"

"成人の一次救命処置で正しいのはどれか。

- a 胸骨圧迫は剣状突起部で行う。
- b 胸骨圧迫は 1 分間の 60 回の速度で行う。
- c 人工呼吸と胸骨圧迫の回数は 1 : 5 で行う

- d 口対口人工呼吸ができなければ胸骨圧迫のみでよい。
- e 除細動をするときには患者が動かないように抑える。"

"出血性ショックの症候でないのはどれか。

- a 意識混濁
- b 皮膚湿潤
- c 四肢冷感
- d 徐脈
- e 血圧低下"

"災害時に、自発呼吸があり意識混濁を伴うショック状態の患者につけるトリアージタックの色で正しいのはどれか。

- a 緑
- b 黄
- c 赤
- d 黒
- e 白"

"貧血への代償機序としての症候はどれか。

- a 浮腫
- b 頭痛
- c 失神
- d 頻脈
- e 便秘"

"路上で倒れている心肺機能停止成人患者において、蘇生率を向上させるために「一次救命処置」より「119番通報」を優先する理由はどれか。

- a 除細動
- b 酸素投与
- c 気道確保
- d 静脈路確保
- e 心電図伝送"

"チアノーゼを判定する部位で最も適切なのはどれか。

- a 眼瞼結膜
- b 口唇
- c 舌
- d 手掌
- e 足底 "

"高二酸化炭素血症を認める慢性閉塞性肺疾患患者で意識障害をきたし得るのはどれか。

- a 呼吸中枢刺激薬投与

- b 経鼻的持続陽圧呼吸療法
- c 気管切開による人工呼吸
- d 気管挿管による人工呼吸
- e フェイスマスクからの 100%酸素投与"

"ピンク色で泡沫状の痰を伴うのはどれか。

- a 肺がん
- b 肺炎
- c 肺水腫
- d 肺梗塞
- e 気管支喘息"

"「イー」と言わせたとき、口角に左右差がみられる患者が障害を受けているのはどれか。

- a 第Ⅳ脳神経
- b 第Ⅴ脳神経
- c 第Ⅵ脳神経
- d 第Ⅶ脳神経
- e 第Ⅷ脳神経"

"植物状態患者の生命維持に最低限必要なものはどれか

- a 酸素投与
- b 栄養管理
- c 昇圧薬投与
- d 抗菌薬投与
- e 人工呼吸器管理"

"薬物アレルギーの症候で最も多いのはどれか。

- a 発熱
- b 浮腫
- c 皮疹
- d 貧血
- e 黄疸"

"一酸化炭素中毒でみられないのはどれか。

- a チアノーゼ
- b 意識障害
- c けいれん
- d 呼吸困難
- e 血圧低下"

"有機溶剤による急性中毒症状はどれか。

- a けいれん

- b 粘血便
- c 高熱
- d 喀血
- e 尿閉"

"成人の末梢静脈路によく使用されるのはどれか。

- a 内頸静脈
- b 外頸静脈
- c 鎖骨下静脈
- d 橈側皮静脈
- e 大腿静脈"

"図1は何をしているところか。

- a 動脈血採血
- b 動脈圧測定
- c 静脈内注射
- d 静脈血採血
- e 静脈路確保"

"頭部単純CT(図6)を示す。診断はどれか。

- a 脳梗塞
- b 脳出血
- c 髄膜炎
- d 硬膜下出血
- e くも膜下出血

"

"単純CT(図7)を示す。診断はどれか。

- a 脳出血
- b 脳梗塞
- c くも膜下出血
- d 急性硬膜外血腫
- e 急性硬膜下血腫"

"脳梗塞の発生に関連しないのはどれか

- a 脱水症
- b 糖尿病
- c 僧帽弁膜症
- d 過換気症候群
- e 播種性血管内凝固症候群(DIC)

"

"死亡診断書で正しいのはどれか。

- a 死因の種類で自殺は不慮の外因死に分類される。
- b 医師本人が署名した場合は押印は不要である。
- c 最終診察後 48 時間目に死亡した場合は交付できる。
- d 記載できない部分は空欄のままにしておく。
- e 歯科医師は発行できない。

"

"根拠（エビデンス）に基づいた医療（EBM）について正しいのはどれか。

- a 医学文献を検索するために技術である。
- b エビデンスのランク付けをすることである。
- c 医療費の削減を主目的とした行政指導である。
- d 患者の価値観から独立した臨床診断を行うことである。
- e エビデンスを患者ごとの問題解決に適用する考え方である。"

"正しいのはどれか。

- a わが国では安楽死は法律で認められている。
- b わが国では尊厳死と安楽死とは同義とされている。
- c 尊厳死は患者の意思にかかわらず家族の意見で決めることができる。
- d リビングウィルは終末期医療に関する患者の意思表明文書である。
- e わが国では「尊厳死宣言文書」は法に基づいて患者が作成する。

"

"38 歳の男性。草刈をしていたところスズメバチに頸部と前腕を刺されて来院した。局所の痛みと腫脹を訴えていたが気分悪いといってしゃがみ込んでしまった。可能性が低いのはどれか。

- a 意識障害
- b 呼吸困難
- c 頻脈
- d 血圧上昇
- e 皮疹

"

"40 歳の男性。工作中、大量吐血して搬入された。意識は清明。体温 36.1℃。脈拍 120/分、整。血圧 76/50mmHg。顔面蒼白。腹部は平坦、軟。上腹部に圧痛を認めるが、筋性防御は認めない。血液所見：赤血球 260 万、Hb 8.4g/dl、Ht 26%、白血球 12,000、血小板 23 万。

対応として適切でないのはどれか。

- a 酸素投与
- b 静脈路確保
- c 膀胱カテーテル挿入
- d 上部消化管造影
- e 上部消化管内視鏡

"

"21歳の男性。交通外傷のため救急乗用車で搬入された。オートバイ運転中に乗用車と接触し転倒した。意識障害はない。呼吸数 30 回/分。脈拍 120/分、整。血圧 80/64mmHg。右側胸部に打撲痕と皮下気腫を認める。右肺の呼吸音は減弱している。腹部に擦過傷を認めるが圧痛や膨隆はない。骨盤・四肢の変形、腫脹および運動麻痺はない。

血圧の低下の原因として考えられるのはどれか。

- a 頸髄損傷
- b 緊張性気胸
- c 胸腔内出血
- d 腹腔内出血
- e 消化管穿孔

"

"45歳の男性。右上腕と腰背部の激痛のために救急車で搬入された。

現病歴：自転車を運転中にバイクと衝突転倒し、路上に投げ出された。右上腕と腰背部を路面に強打して立ちあがれなくなった。既往歴：特記事項なし。現症：意識清明。身長 165 cm、体重 60 kg、脈拍 84/分、整。血圧 126/80mmHg。右上腕は腫脹し、激痛を伴っている。腰背部にも激痛がある。脳神経系は正常である。右手関節の背屈、右手指筋の屈曲の筋力は正常である。右手関節の掌屈、右手指筋の屈曲の筋力は正常である。表在感覚は右前腕、右手背で低下している。左上肢に神経学的異常は認めず、膀胱直腸障害はない。

右上肢の運動麻痺の原因部位はどれか。

- a 橋
- b 延髄
- c 頸髄
- d 胸髄
- e 末梢神経

"

"下肢の神経学的所見として考えにくいのはどれか。

- a 筋力低下
- b 表在感覚低下
- c 深部感覚低下

d 病的反射陽性

e 深部反射源弱

"

"47歳女性。乳房の腫瘍に気づいたので来院した。

現病歴：昨日、入浴後に右乳房に腫瘍を触知した。既往歴：特記事項なし。現症：意識清明。身長155cm、体重53kg。体温36.7℃。脈拍72/分、整。血圧120/70mmHg。眼瞼結膜に異常を認めない。頸部に血管雑音はない。心雑音はない。右乳房上外側に辺縁が不整な2cm大の腫瘍を触知する。乳癌の可能性を示唆したところ、顔面蒼白になり意識消失し、崩れ落ちるように倒れた。呼びかけに反応しない。

気道確保とバイタルサインの確認をしながら、次にすべきことはどれか。

a 人を呼ぶ。

b 担架を探しに行く。

c 静脈路を確保する。

d 人工呼吸を開始する。

e 心臓マッサージを開始する。

"

"まもなく意識が回復した。脈拍80/分、整。血圧130/80mmHg。外傷はなく、神経学的にも異常を認めない。意識消失のエピソードに対して、次にすべきことはどれか。

a 経過観察

b 胸部X線撮影

c 頭部単純CT

d 脳波

e 24時間連続心電図

"

"48歳女性。腹痛と嘔吐があり救急車で来院した。5時間前から差し込むような腹痛が始まり、間欠的に混濁した黄色の消化管内溶液を嘔吐した。腹痛が始まってから排尿はない。3年前に胃下垂全摘術を受けた。意識清明。脈拍104/分、整。血圧98/82mmHg。心音と呼吸音とに異常はない。腹部はやや膨満し、高調の腸雑音を聴取する。まず行う輸液の組成はどれか。表2から選べ。

"

"28歳の男性。水蒸気の噴出事故に遭遇し、救急車で搬送された。熱傷を顔面、頭部、右上肢および体幹前面に認める。熱傷面積の割合はどれか。

a 18%

b 27%



- c 36%
- d 45%
- e 54%

"

"38歳の男性。強い呼吸困難のため救急車で搬入された。同僚によると朝から喉が痛いため、ヨード剤でうがいをし、市販のトローチをなめたところ、15分経過したころから次第に呼吸が苦しくなってきたという。来院時、呼びかけに応答はなく、頸動脈の拍動をわずかに触知する。顔面にはチアノーゼが著明である。まず行う処置はどれか。

- a 気道確保
- b 心臓マッサージ
- c 人工呼吸
- d 除細動
- e 静脈路確保

"

"2歳の男児。4時間前に紙巻タバコを約1cm誤飲したために来院した。症状はない。最も適切な対応はどれか。

- a 胃洗浄を行う。
- b 水を飲ませる。
- c 牛乳を飲ませる。
- d 緩下剤を投与する。
- e 無処置で観察する。

"

"20歳の男性。右下腿の創傷と疼痛のため救急車で搬送された。現病歴：バイクの運転中に乗用車と衝突して転倒し受傷した。既往歴：特記事項なし。現症：意識は清明。身長170cm、体重68kg。体温36°C。脈拍92/分、整。血圧124/80mmHg。ズボンには血液と砂が多量に付着している。ズボンの破れ目から皮膚の挫創と損傷した筋を認める。右下腿以外には明らかな外傷所見はない。検査所見：尿所見：蛋白(-)、糖(-)、潜血(-)。血液所見：赤血球440万、Hb13.8g/dl、Ht42%、白血球8400、血小板23万、血

液生化学所見：総蛋白 7.2 g/d l、尿素窒素 10m g/d l、クレアチニン 0.9m g/d l、AST 351U/l,ALT 10 IU/l,Na 142mEq/l,K 4.5mEq/l,Cl 102mEq/l

まず確認すべき損傷はどれか。

- a 腱断裂
- b 靭帯断裂
- c 動脈断裂
- d 神経断裂
- e 関節包断裂

"

"診察の結果、脛骨と腓骨の骨折をみとめた。まず行う処置はどれか。

- a 動脈の縫合
- b 皮膚の縫合
- c 骨折の内固定
- d 抗菌薬の投与
- e 創部のデブリードマン

"

"58歳の男性。会議で発言中に突然倒れ、救急車で搬入された。同僚が心肺蘇生を施行したが、7分後救急隊到着時には心肺停止状態であった。ラリングアルマスクで気道確保され、バッグによる人工呼吸と心臓マッサージを施行され、用手換気で良好な胸郭の動きが確認される。心電図モニターでは心静止である。右前腕静脈に静脈路を確保した。この時点で標準的に用いられるのはどれか。

- a リドカイン
- b アドレナリン
- c プロカインアミド
- d ノルアドレナリン
- e イソプロテレノール

"

"2歳の男児。ボタン型電池を誤飲し来院した。頸胸部エックス線単純写真で食道入口部に電池が停留しているのを確認した。適切な処置はどれか。

- a 経鼻栄養チューブ挿入
- b 内視鏡下摘出
- c 頸部切開手術
- d 気管切開
- e 経過観察

"

"38歳男性。直下型地震で倒壊した家屋の下敷きになり救急車で搬入された。現病歴：地震で倒れた柱に両側下肢を挟まれ、救助隊が到着するまで身動きができなかった。両下肢に激痛がある。尿は出していない。現症：意識は混濁。身長177cm、体重72kg。体温37.1℃。脈拍112/分、整。血圧76/32mmHg。皮膚は蒼白で冷たい。頸静脈拍動が仰臥位で認められない。両下肢に皮下出血と腫脹を認める。救出から搬入まで尿は出しておらず、入院後にカテーテルの導尿によって10mlの尿が得られた。検査所見：尿所見：色調はコーラ色、蛋白1+、糖(-)、潜血1+。血液所見：赤血球310万、Hb11.2g/dl、Ht30%、白血球13700、血小板34万、血液生化学所見：総蛋白6.5g/dl、アルブミン4.5g/dl、尿素窒素40mg/dl、クレアチニン2.5mg/dl、尿酸8.0mg/dl、総ビリルビン0.9mg/dl、AST700IU/l、ALT140IU/l、CK10200IU/l(基準値10~40)、Na135meq/l、K7.1meq/l、Cl111meq/l。心電図でT波の増高が認められる。

尿がコーラ色なのは何を含んでいるためか。

- a ビリルビン
- b ポリフィリン
- c ミオグロビン
- d ウロビリノゲン
- e メトヘモグロビン

"

"輸液として最も適切なのはどれか。

- a 生理食塩水
- b 脂肪栄養液
- c アミノ酸栄養液
- d 5%ブドウ糖液
- e カリウム含有低張液

"

"45歳男性。意識障害のため搬入された。身長175cm、体重95kg。体温35.7℃。脈拍112/分、整。血圧110/70mmHg。尿所見：蛋白(±)、糖(-)。血液所見：赤血球650万、Hb17.5g/dl、Ht56%、白血球13000、血小板10万。血液性化学所見：血糖40mg/dl、HbA1c10.0%、尿素窒素30mg/dl、クレアチニン1.1mg/dl、尿

酸 8.0m g/d l、総コレステロール 250m g/d l、トリグリセリド 300m g/d l、N a 145m E q/l、K 5.2m E q/l、C l 105m E q/l。C R P 3.0m g/d l。動脈血ガス分析（自発呼吸、room air): pH 7.50、 PaO<sub>2</sub> 106 Torr、 P a C O<sub>2</sub> 34 Torr、HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> 20mEq/l。

検査項目でパニック値はどれか。

- a ヘモグロビン (H b)
  - b 血小板
  - c 血糖
  - d カリウム
  - e p H
- "

"46歳男性。近医で右肺尖部の異常陰影を指摘され来院した。胸部造影C Tを撮影した直後に呼吸困難を訴え始めた。意識は清明。呼吸数 36/分。脈拍 140/分、整。血圧 78/44mm H g。全身の皮膚に発赤を認め、呼気時に喘鳴を聴取する。

直ちに投与すべき薬剤はどれか。

- a ドパミン
  - b モルヒネ
  - c リドカイン
  - d アドレナリン
  - e プロプラノロール
- "

"次の急性薬物中毒で瞳孔が散大している状態で発見された。血圧 120/60mmH g、呼吸回数 10回/分。可能性の高いものを選び。

- a コカイン
- b モルヒネ
- c 有機リン
- d アンフェタミン
- e トリクロロエタノール"

"左側の薬剤による急性中毒に対する拮抗薬が右側に書かれている。間違いはどれか。

- a メタノール-----エタノール
- b アセトアミノフェン----N・アセチルシステイン
- c ベンゾジアゼピン----フルマゼニル
- d 抗コリン薬-----フィゾスチグミン
- e モルヒネ-----アレピアチン"

"活性炭吸着がほとんど有効でないものはどれか。

- a フェノバルビタール
- b アスピリン
- c エタノール
- d アンフェタミン
- e 三環系抗うつ薬

"

"コカイン中毒について間違っているものはどれか

- a 興奮、過呼吸がみられる。
- b 徐脈や血圧低下が見られる。
- c 重大な合併症にくも膜下出血や脳内出血がある。
- d 縮瞳する。
- e 重大な合併症に心筋梗塞や不整脈がある。

"

"アルコール中毒について間違っているものはどれか

- a 血中濃度が  $400\text{mg/dl}$  以上になると昏睡状態になる。
- b 胃洗浄は有効でない。
- c アルコール関連身体障害として多発性神経炎やWernicke 脳症がある。
- d 早期離脱症候群は離脱後 20 時間ごろピークとなる。
- e 後期離脱症候群は離脱後 7 日ごろから発症して数日間持続する。

"

"下記の中毒と検出検査の組み合わせで間違いはどれか。

- a ベンゼン中毒-----尿中フェノール定量
- b トルエン中毒-----尿中馬尿酸定量
- c アニリン中毒-----血中メトヘモグロビン
- d キシレン中毒-----尿中馬尿酸定量
- e メタノール中毒-----尿中エタノール測定

"

"下記の重金属中毒と検出検査や症状の組み合わせで間違いはどれか。

- a 重金属鉛中毒-----低色素性貧血
- b ヒ素-----メニエル病
- c 有機水銀-----Hunter-Russell 症候群
- d マンガン-----Perkinson 症候群
- e カドミウム-----イタイイタイ病

"

"一酸化炭素中毒について間違いはどれか。

- a 中毒死亡者では最多である。

- b 自殺より火災（失火）による一酸化炭素中毒が多い。
- c CO-Hb が 60%以上を超えると意識障害がみられ、長く続くと呼吸停止となる。
- d 高濃度酸素吸入、純酸素による強制換気も有効である。
- e CTでの淡蒼球の低吸収像は特徴的所見である。"

"中毒と治療法の組み合わせで間違いはどれか。

- a 一酸化炭素中毒-----高圧酸素療法
- b シアン中毒-----亜硝酸アミルの吸入
- c パラコート中毒-----酸素投与
- d 有機リン中毒-----P AM
- e 鉛中毒-----C a N a 2-E D T A"

"ショックに関する文章の中で間違いはどれか。

- a アナフィラキシーショックでは初期から著名な呼吸困難症状が起きる。
- b 敗血症性ショックの初期は心拍出量は低下している。
- c ショックが遷延すると血圧は低下する。
- d 神経原性ショックでは皮膚温は温かい。
- e ショックの患者では動脈血液中の乳酸値は上昇する。"

"ショックの分類に関するの組み合わせの中で間違いはどれか

- a 血液分布異常性ショック-----敗血症性ショック
- b 血液分布異常性ショック-----心筋梗塞
- c 心外閉塞、拘束性ショック-----収縮性心膜炎
- d 心外閉塞、拘束性ショック-----緊張性気胸
- e 循環血液量減少性ショック-----出血性ショック"

"SIRS の項目に含まれるものはどれか。

- a 体温 < 36°C
- b 脈拍数 > 90 回/分
- c 呼吸回数 < 15 回/分
- d WBC < 12000/mm<sup>3</sup>
- e 幼若白血球 > 10%

"

"敗血症性ショックについての文章で間違いはどれか。

- a 初期には hyperdynamic state の状態になる。
- b DICを合併しやすい。
- c 低血圧に対してはカテコラミンの投与が行われる。

- d SIRSはSepsisへの移行の前駆状態と考えられている。
- e グラム陰性菌の感染以外では起きない。

"

"アナフィラキシーショックに関する文章の中で正しいはどれか

- a 数秒から30分以内に起きる。
- b II型アレルギーによるショックである。
- c 血液分布異常性ショックを起こす。
- d アドレナリンの投与は有効でない。
- e 血管透過性は亢進している。

"

"以下の中で心停止の波形でないものはどれか。

- a 心室細動
- b 無脈性心室頻拍
- c 無脈性電気活動
- d 心静止
- e 発作性上室性頻拍"

"以下の状態で瞳孔が散大するものはどれか。

- a バルビタール中毒
- b 橋出血
- c 有機リン中毒
- d カテコラミン大量投与
- e 麻薬中毒"

"二次救命処置における原因検索の疾患に含まれないものはどれか。

- a 低酸素血症
- b 低血糖
- c 低体温
- d 低Ca血症
- e 循環血液量低下"

"二次救命処置における原因検索の疾患に含まれないものはどれか。

- a 緊張性気胸
- b 心タンポナーデ
- c 肺梗塞
- d 外傷

e 不整脈"

"言葉の定義で間違っているのはどれか。

- a AED を公共の場所や多くの人を利用する場所にくまなく設置していつでも除細動が使用できるようにすることを PAD (public access defibrillation) という。
- b プレホスピタルケアは病院前救護ともいう。
- c 病院外で救急救命士などが医療行為を実施する場合に、医師が指導、助言をして、医行為の質を保証することをメディカルコントロールという。
- d 鼻咽頭エアウェイは意識がなく咳など上気道の反射がない患者に対して口から挿入する補助器具である。
- e DNR または D N A R は治療にも反応しない進行性病変で、死が目前に迫る患者が心停止に至ったときに、蘇生を行わないことを前もって医師と本人の合意で決定することである。"

"心肺蘇生に関する文章で間違っているのはどれか。

- a 救命の連鎖に二次救命処置は含まれない。
- b 救命の連鎖に迅速な除細動は含まれる。
- c 一次救命処置のアルゴリズムでは胸骨圧迫と人工呼吸の比率は 30:2 である。
- d 一次救命処置のアルゴリズムでは脈があり、呼吸がない時は人工呼吸を 10 回/分を実施する。
- e 胸骨圧迫は 100 回/分で強く早く押すことが大切で、圧迫解除を胸郭がしっかり戻るまで待つ必要はない。

"

"表 1 の中でエピネフリンはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④
- e ⑤

"

"表 1 の中でイソプロテレノールはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③



d ④

e ⑤

"

"心肺蘇生時に使用される治療の文章で間違っているのはどれか。

- a 二次救命処置の中で最も有効な治療は心室細動に対する除細動である。
- b 心肺蘇生により心拍再開した心室細動や無脈性心室頻拍症例に対する軽度低体温療法は神経学的予後改善に寄与する。
- c 心停止の患者にはアドレナリン 1mg を 3～4 分毎に使用する。
- d 心停止症例に対するバソプレッシンの投与は 40 単位 3 回である。
- e 欧米ではアミオダロンは電氣的除細動が無効であった症例に対して初回 300mg を静脈投与して追加時 150mg を静脈投与する。

"

"単純レントゲン写真所見のなかで急性腹症と関連がほとんどないものはどれか。

- a free air
- b niveau
- c 腸腰筋陰影の明瞭化
- d dog's ear sign
- e 右季肋部の石灰化

"

"脂肪塞栓症候群について間違っているのはどれか。

- 1 大腿骨骨折では脂肪塞栓が発症しやすい。
- 2 P a O<sub>2</sub> が低下する。
- 3 点状出血がみられる。
- 4 骨折後 7～10 日で発症する。
- 5 精神症状が起きる。

"

"外傷初期診療についての文章で間違いはどれか。

- 1 primary survey では蘇生の必要性を判断する目的で生理学的兆候を評価する。
- 2 secondary survey では治療を必要とする損傷を検索するために解剖学的評価をする。
- 3 primary survey の B は Bleeding で出血部位を検索することである。
- 4 primary survey の A は 気道の評価で開通の有無をみる。
- 5 secondary survey は受傷機転などの情報の聴取と系統的な身体診察が含まれる。

"

"頭部外傷を受傷している開頭術後の小児の患者（図 2）である。以下の文章で間違いはどれか。

- a 頭蓋底骨折が疑われる。
- b 両眼瞼の皮下血腫はバトル徴候と呼ばれる。
- c 徐脈を呈することはない。
- d 高二酸化炭素血症や低酸素血症にならないように人工呼吸管理をする。
- e 鼻や耳からの髄液漏出を観察する必要がある。

"

"心外傷にともなう心タンポナーデで見られない所見はどれか。

- a 奇脈
- b 心音減弱
- c 頸静脈怒張
- d 呼吸音の左右差
- e 血圧低下

"

"活性炭が有効な薬物の条件で間違いはどれか。

- a 分布容量が小さい。
- b 蛋白結合率が低い。
- c 水溶性
- d イオン化物
- e 徐放剤

"

"胸部外傷に関する文章で間違いはどれか。

- a 胸部圧迫症候群では胸部に加えられた強い圧迫により一過性の静脈圧上昇をきたす。
- b ショック状態で頸静脈怒張があり、呼吸音に左右差があれば緊張性気胸が疑われる。
- c ショック状態で胸壁の運動異常があればフレイルチェストが疑われる。
- d 顔面および頸部の点状出血と浮腫は外傷性窒息が疑われる所見である。
- e 緊張性気胸のレントゲンでは虚脱した肺、縦隔の患側への偏位、患側の横隔膜下降がみられる。

"

"フレイルチェストに関する文章で間違いはどれか。

- a 3本以上の肋骨が2箇所以上で骨折すると生じやすい。
- b 重症ではショック症状、チアノーゼが見られる。
- c 人工呼吸による間欠的陽圧呼吸が行われる。
- d 肺挫傷の合併はまれである。
- e 下位肋骨骨折では腹部臓器損傷も検索する。

"

"外傷性気胸に関する文章で間違いはどれか。

- a 奇異呼吸がみられる。
- b 重症ではショック症状が見られる。
- c 持続胸腔ドレナージが行われる。
- d 患側で鼓音が聞かれたら緊張性気胸を疑う。
- e 重症化してもチアノーゼはおきない。

"

"心血管外傷に関する文章で正しいのはどれか。

- a 穿通性心臓外傷は右房が最も多い。
- b 心臓刺創では保存的に治療されることが多い。
- c 心タンポナーデでは脈圧は上昇する。
- d 外傷性大動脈損傷は左鎖骨下動脈起始部が多い。
- e 外傷性大動脈損傷ではステント挿入は無効である。

"

"脳死判定の除外例に含まれないものを選択せよ。

- a 6歳未満
- b 40℃以上の高体温
- c 急性薬物中毒
- d 肝性脳症による昏睡
- e 直腸温32℃以下の低体温

"

"骨盤骨折についての記載で誤りはどれか。

- a 安定型骨盤骨折は致命傷となることはまれである。
- b 不安定型骨盤骨折は後腹膜出血をとめないやすく出血性ショックをきたす。
- c 骨盤骨折の初療時の確定診断は骨盤前後像の単純写真で行う。
- d 腸腰筋陰影が消失したら後腹膜血腫を考える。
- e 部分不安定骨折や完全不安定骨折は創外固定の適応とはならない。

"

"腹部外傷での腹腔内出血の所見でないものはどれか。

- a 傍結腸溝の狭小化
- b dog's ear sign
- c floating sign
- d モリソン窩のエコーフリースペース
- e hepatic angle の消失

"

"広範囲挫滅損傷に関する組み合わせで不適当なものを選べ

- a compartment syndrome----- 5P sign
- b degloving injury----- roller injury
- c crush syndrome----- declamping shock
- d crush syndrome -----volkmann 硬縮
- e reperfusion injury----- myonephropathic metabolic syndrome(MNMS)

"

"熱湯の入ったポットがこぼれて受傷した患者が来院した。強い痛みを訴えている。図4のような右手であった。

正しいものを選択せよ。

- a I度熱傷である。
- b II度熱傷 SDB である。
- c II度熱傷 DDB である。
- d III度熱傷である。
- e いずれとも判別できない。"

"火炎熱傷による患者（図5）が搬送された。この症例に関する文章で正しいのはどれか。

- a 大部分がI度熱傷である。
- b 大部分がII度熱傷 SDB である。
- c 大部分がII度熱傷 DDB である。
- d 大部分がIII度熱傷である。
- e いずれとも判別できない。"

"火炎熱傷による患者（図5）が搬送された。この症例に関する文章で間違いはどれか。

- a 将来植皮が必要になる。
- b 気道熱傷の可能性は低い。
- c 一酸化炭素ヘモグロビン高値が確認されれば100%酸素による人工呼吸を速やかに開始する。
- d 胸部の減張切開が必要になる可能性がある。

e ヘモグロビン尿がみられる。"

"熱中症に関する文章で間違いはどれか

- a 熱射病では体温が40℃以上になる
- b 意識障害がみられたら救命センターへの搬送が望ましい。
- c 熱射病は多臓器不全やDICへ伸展すると予後が悪くなる。
- d 重症症例でも肝不全はまれである。
- e なるべく早く38℃まで冷却することが大事である。

"

"偶発性低体温症に関する文章で間違いはどれか

- a 深部体温が35℃以下となるのが定義である。
- b 低栄養や疲労でも低体温症がおきることがあり二次性偶発性低体温症といわれる。
- c 高度低体温症では意識は比較的保たれる。
- d 中等度低体温症で心電図変化がでてきて、30℃以下になると心室細動がおきやすくなる。
- e 高度偶発性低体温症に対して最近では復温は急速に行うことが推奨されている。"

"成人で右腕全周と体幹前面にⅢ度熱傷が見られた。熱傷面積を測定するとおよそ何%になるか。

- a 10%
- b 20%
- c 30%
- d 40%
- e 50%

"

"熱傷に関する文章で間違いはどれか。

- a 体表面積15%を超えるⅢ度熱傷では長時間の流水による冷却は行わない。
- b 重症熱傷では確実な気道確保と静脈ルート確保は早期に実施する。
- c 輸液管理における投与量は気道熱傷の有無は考慮されない。
- d 輸液を必要とする熱傷患者の輸液はブドウ糖をふくむ維持液輸液を実施する。
- e 顔面熱傷と意識障害があれば一酸化炭素中毒の治療も平行して開始する。"

"熱傷に関する文章で正しいはどれか。

- a Burn Index はⅡ度熱傷とⅢ度熱傷の面積の和である。
- b 一般的に熱傷面積が同じなら成人の方が小児より重症である。
- c クッシング潰瘍が起きる。
- d 早期の皮膚感染で多い起炎菌は緑膿菌である。

e 熱傷によりヘモグロビン尿がみられる。

"

"気道熱傷に関する文章で誤りはどれか。

- a 高温の蒸気の吸入により起きる。
- b 口唇や顔面熱傷に合併する。
- c 鼻毛や眉毛がこげている所見があれば疑う。
- d 喉頭浮腫が起きる。
- e 気道確保の第一選択は気管切開である。

"

"破傷風に関する文章で間違いはどれか

- a 破傷風菌はグラム陽性嫌気性桿菌である。
- b 土壌常在菌である。
- c 運動神経に作用して強直性痙攣を起こすが、自律神経には作用しない。
- d 破傷風菌は神経毒素と溶血毒素の両方を持つ。
- e ペニシリン G の大量投与療法が第一選択である。

"

"Glasgow Coma Scale に関する文章で正しいのはどれか

- a 合計点が同じなら神経学的予後は同じである。
- b 痛み刺激を加えながら呼びかけるとかろうじて開眼するのは E1 である。
- c 呼びかけで開眼するのは E2 である。
- d 見当識があるのは V5 である。
- e 除皮質硬直は M3 になる。

"

"高山病に関する文章で間違いはどれか。

- a 重症例は肺水腫をおこす。
- b 重症例でも意識障害は起こらない。
- c 急性高山病では悪心、嘔吐のような消化器症状がでる。
- d 急性高山病ではめまいやたちくらみが起きることがある。
- e 症状がでたら下山が原則である。"

"クロストリジウム性ガス壊疽に関する文章で間違いはどれか

- a クロストリジウム属の菌は土壌常在菌でグラム陽性桿菌である。
- b ワイン色の尿は診断の参考になる。
- c 患部は初期に強い疼痛がある。
- d 患部の腐敗臭や握雪感は診断の参考になる。

e 高熱が見られる症例は少ない。

"

"Japan Coma Scale に関する文章で正しいのはどれか

- a 自分の名前、生年月日が言えないのは3である
- b 呼びかけると容易に開眼するのは30である。
- c 痛み刺激を加えながら呼びかけるとかろうじて開眼するのは20である。
- d 除皮質硬直は100になる。
- e 痛み刺激に対して、開眼はしないが刺激部位に手をもってくるのは100である。

"

"意識障害患者の症状と原因の関係で間違っているのはどれか。

- a ばち状指-----CO2ナルコーシス
- b アセトン臭-----急性アルコール中毒
- c 徐脈性不整脈-----アダムスーストークス発作
- d 縮瞳-----モルヒネ中毒
- e 鮮紅色の皮膚-----CO中毒"

"減圧症に関する文章で間違いはどれか。

- a 以前は潜水病や潜函病とも呼ばれていた。
- b 高圧環境下で生体内に溶解していた不活性ガスの気泡化が原因で発症する。
- c 減圧症で問題になる不活性ガスは主にオゾンである。
- d 重症例は浮上後から発症までの時間は長い。
- e 重症減圧障害発症の要因は深く長い潜水である。"

"脳死判定の基準に含まれないものを選択せよ。

- a 深昏睡
- b 両側瞳孔の固定
- c 脊髄反射の消失
- d 平坦脳波
- e 自発呼吸の消失

"

"トリアージについての文章で間違いはどれか。

- a トリアージにおける爪床圧迫再循環時間は2秒以内が正常である。
- b 一次トリアージは一人30秒以内で実施する。
- c 広範囲でない熱傷は黄色（Ⅱ 準緊急）に区分される。
- d 打撲や捻挫で歩行が可能な症例は黄色（Ⅱ 準緊急）に区分される。
- e タグは基本的には右手につけられる。"

"トリアージ区分の赤(I) に相当する病態でないものはどれか。

- a 大腿骨折
- b 気道閉塞
- c ショック
- d 頭部外傷で瞳孔不同あり
- e 広範囲熱傷

"

"脳卒中に関する文章で間違いを選択せよ。

- a 寝たきり患者の約40%は脳血管障害が原因である。
- b シンシナチ病院前脳卒中スケールには瞳孔不同も含まれる。
- c early CT sign で脳出血であることが分かる。
- d 塞栓の原因として心房細動がある。
- e tPA は3時間以内なら心原性脳塞栓にもラクナ梗塞にも、アテローム血栓性梗塞にも使うことができる。

"

"頭部外傷の患者が搬入された。secondary survey で撮影したCT画像(図3)を参照して以下の文章で正しいものを選択せよ。

- a 急性硬膜外血腫である。
- b 急性硬膜下血腫である。
- c 呼吸パターンは正常である。
- d 瞳孔は正円同大で対光反射は両側迅速であった。
- e 受傷直後は意識が清明であったが次第に低下して昏睡になった。

"

"電撃症に関する文章で間違いはどれか。

- a 腱と神経では腱の方が電流が多く流れる。
- b ミオグロビン尿は見られない。
- c 局所の熱傷はⅢ度の様相を呈する。
- d 進行性壊死がおきる。
- e 減張切開が必要となる。



"

"バイタルサインに含まれないものはどれか。

- a 呼吸数
- b 脈拍
- c 血圧
- d 意識レベル
- e 時間尿量

"

"メディカルコントロール (MC)体制についての文章で間違いはどれか (複数回答もあり)

- a 消防署内部でプレホスピタルケアに対する事後検証を行うとともに、さらに問題があるときには検証医をおき事後検証を行う。
- b オンラインMCは救急現場や搬送中の処置が的確であったかどうかを客観的に評価してフィードバックすることである。
- c 食道閉鎖式エアウェイ挿入は救命士に認められた特定行為である。
- d MC 協議会に認められた救命士は包括指示のもとでアドレナリン投与が出来る。
- e 包括的指示による除細動では心電図伝送が不要となる。

"

"病院前救護システムについて救急救命士の包括指示下での特定行為で間違いはどれか。(複数回答もあり)

- a 除細動
- b 気管挿管
- c 骨髄穿刺
- d アドレナリン投与
- e 胃管挿入

"

"多臓器障害(MODS)についての文章で間違いはどれか (複数回答もあり)

- a 2 個以上の臓器の不可逆的な生理学的機能障害が 2 4 時間以上存在している状態。
- b 障害臓器の数が多いほど予後不良となる。
- c 障害期間が長引くほど予後は不良となる。
- d 早期の経腸栄養は推奨されない。
- e MODS には病態進行上 3 段階のステージが存在する。

"

"富山市において初期救急医療施設として位置づけられるものはどれか

1. 富山市民病院
2. 富山県立中央病院
3. 富山大学附属病院
4. 富山市救急医療センター
5. 富山市中央保健福祉センター

"

"78歳の女性、3日前より頻尿、排尿時痛を自覚していた。本日、悪寒・戦慄を伴う発熱があり意識状態も悪いために救急要請された。来院時意識レベルはJCS20、血圧82/58mmHg、脈拍120回/分、呼吸数28回/分、体温35.8度であった。

この患者の以下の身体所見の中でSIRSの陽性基準にあたらない組み合わせはどれか

a.意識 b.血圧 c.脈拍 d.呼吸数 e.体温

1. a,b
2. b,c
3. c,d
4. d,e
5. a,e

この患者の病態として最も適当なものはどれか

1. 心原性ショック
2. 閉塞性ショック
3. 神経原性ショック
4. 血液分布異常性ショック
5. 循環血液量減少性ショック"

"傷病者の搬送方法について正しいものを1つ選べ

- a. 患者を搬送する際は頭部を前にして運ぶ。
- b. 意識が清明な患者では頸椎固定の適応はない。
- c. バックボード固定された患者の解除は頭部から行う。
- d. ログロールの際は肩を保持するものが指示を出す。
- e. 危機的な現場からの退避においても脊柱固定は必須である。"

"外傷初期診療についての文章で間違いはどれか。

- 1 primary survey では蘇生の必要性を判断する目的で生理学的兆候を評価する。
- 2 secondary survey では治療を必要とする損傷を検索するために解剖学的評価をする。
- 3 primary survey の B は Bleeding で出血部位を検索することである。
- 4 primary survey の A は 気道の評価で開通の有無をみる。
- 5 secondary survey は受傷機転などの情報の聴取と系統的な身体診察が含まれる。

"

"偶発性低体温症に関する文章で間違いはどれか

- 1 深部体温が 35℃以下となるのが定義である。
- 2 低栄養は疲労でも低体温症がおきることがあり二次性偶発性低体温症といわれる。
- 3 高度偶発性低体温症に対して最近では復温は急速に行うことが推奨されている。
- 4 軽度低体温症で心電図変化がでてきて、30℃以下になると心室細動がおきやすくなる。
- 5 高度低体温症では昏睡に陥る。"

"56 歳、男性。交通事故にて救急搬送された。意識 JCS 100、血圧 78/44 mmHg、脈拍 122 bpm。右側頭部に挫創あり、腹部に打撲痕、腹部膨隆を認める。最初に行うべきことを一つ選べ。

1. 急速輸液
2. NIHSS 評価
3. 診断的腹腔洗浄
4. 緊急頭部単純 CT
5. 緊急腹部造影 CT

"

"AED について正しいものはどれか？

1. 上室性頻拍の治療に用いる
2. 到着したら、すぐに電源をいれる
3. 心電図解析・充電中は胸骨圧迫を継続する
4. 電極パッドは成人用・小児用・乳児用の 3 種類がある
5. 除細動終了後はパッドを除去し、救急隊（医師）へ引き継ぐ

"

"日本の救急医療体制について正しいものを選べ

1. 初期・二次・三次・四次の段階に大別される
2. 救急車はまずは初期医療施設へ患者を搬送する
3. 二次救急医療施設では救急患者の入院加療が可能である。
4. 人口 1000 万人につき一箇所の救命救急センターが整備されている。
5. 軽症から重症まですべての疾患に対応するために救命救急センターは整備される。

"

"路上で倒れている心肺機能停止成人患者において、蘇生率を向上させるために「一次救命処置」より「119 番通報」を優先する理由はどれか。

- ① 除細動

- ② 酸素投与
- ③ 気道確保
- ④ 静脈路確保
- ⑤ 心電図伝送

"

"災害現場から最初に伝えるべき情報はどれか

- A) 事故の
- B) 事故の種別
- C) 現場までの到達方法
- D) 危険物の有無
- E) 予測傷病者数

"